

令和5年度 書写 評価規準（1年生）

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	1	がっこうの もじたんけん	○学校の中にはいろいろな文字があることに気づき、文字や書写学習に対する関心を高めることができる。	アイウ	B ：校内にあるさまざまな文字に気づいている。 校内にある文字をカードに書いている。 A ：校内にあるさまざまな文字に、よく気づいている。 校内にあるさまざまな文字をカードに書いている。 支援 ：文字が書かれている場所について知らせる。 カードに書く方法について説明する。	B ：校内にあるさまざまな文字が何のために書かれているのか、考えている。 A ：校内にあるさまざまな文字が何のために書かれているのか、よく考えている。 支援 ：文字が提示されていると便利である例について気づくようにする。	B ：校内にあるさまざまな文字を探そうとしている。 A ：校内にあるさまざまな文字を貼り強く探そうとしている。 支援 ：文字はどんなところで見つけられるか、身近な場所を説明する。
	1	1 はじめの がくしゅう ①じを かく しせい ②えんぴつの もちかた ③たのしく かこう	○よい姿勢・鉛筆の持ち方を知ることができる。 ○よい姿勢・鉛筆の持ち方で、いろいろな線や形などを書き、運筆に慣れることができる。	アイ	B ：よい姿勢・鉛筆の持ち方がわかっている。 よい姿勢・鉛筆の持ち方で運筆している。 A ：よい姿勢・鉛筆の持ち方で書くことを理解している。 よい姿勢・鉛筆の持ち方で書き、運筆に慣れている。 支援 ：よい姿勢・鉛筆の持ち方で書くことの大切さについて理解を促す。 よい姿勢・鉛筆の持ち方で書くポイントを、具体的に説明する。	B ：よい姿勢・鉛筆の持ち方について考えている。 A ：自分の姿勢・鉛筆の持ち方の良しあしを考えている。 支援 ：どこを正すと姿勢・持ち方がよくなるかを、基準に照らして説明する。	B ：よい姿勢・鉛筆の持ち方で書こうとしている。 A ：よい姿勢・鉛筆の持ち方で積極的に書こうとしている。 支援 ：よい姿勢・鉛筆の持ち方で書くことができるように意識づける。 書写の授業以外でも気をつけるように呼びかける。
5月	1	2 ひらがなの がくしゅう ①せんの おわりの かきかた	○終筆（「とめ」と「はらい」）の書き方を理解することができる。 ○鉛筆のよい持ち方で、終筆の書き方に気をつけて書くことができる。	アイ	B ：終筆の書き方を理解している。 終筆の書き方に気をつけて書いている。 A ：終筆の書き方の違いを理解している。 終筆の形を整えて書いている。 支援 ：空書や水書用紙などによって、「とめ」「はらい」の書き方の違いを比べてみるができるようにする。 「とめ」「はらい」の線を、声を出しながら運筆することで理解を促す。	B ：終筆の書き方について考えている。 A ：終筆の書き方の良しあしを考えている。 支援 ：拡大文字などを使って、「とめ」「はらい」の正しい書き方が確かめられるようにする。	B ：終筆に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも終筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：終筆の書き方に気をつけて、積極的に書こうとしている。 常に終筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：終筆を、「ぴたっ」「すうっ」の言葉や動作で表すことで、意欲を高めていくようにする。 学習した以外の文字でも、同じ書き方があることに気づくようにはたらきかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	1	②かきじゅん	○正しい書き順について知り，指でなぞって確かめることができる。 ○書き順に気をつけて，正しく書くことができる。	アイ	B ：正しい書き順について理解している。 正しい書き順で書いている。 A ：正しい書き順と，字形の整え方について理解している。 正しい書き順で，字形を整えて書いている。 支援 ：正しい書き順や字形を具体的に説明する。 まちがえやすい書き順などについて具体的に説明する。	B ：正しい書き順について考えている。 A ：正しい書き順について，よく考えている。 支援 ：拡大文字や色分け文字などを使って，正しい書き順や字形が確かめられるようにする。	B ：書き順に気をつけて書こうとしている。 他の書写場面でも，書き順に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：書き順や字形に気をつけて書こうとしている。 常に書き順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：教科書の文字をなぞるところを隣どうして見合うことで，書き順を確かめられるようにする。 書写の授業以外でも，書き順や字形に気をつけて書くよう意識づける。
	1	③じを かきはじめる ところ	○文字の始筆（書き始めるところ）の位置について，理解することができる。 ○文字の始筆の位置に気をつけて，正しく書くことができる。	アイ	B ：始筆の位置を理解している。 正しい始筆の位置で書いている。 A ：それぞれの文字の始筆の位置の違いを理解している。 正しい始筆の位置で，字形を整えて書いている。 支援 ：一ますを四つにくぎって，どのます目から書き始めるか，具体的に説明する。 それぞれのます目に番号をつけるなどして，書き始めるところの理解を促す。	B ：始筆の位置について考えている。 A ：始筆の位置の良しあしを考えている。 支援 ：始筆の位置が適切ではない文字を例示して，正しい位置が確かめられるようにする。	B ：始筆の位置に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも，始筆の位置に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：始筆の位置に気をつけて，正しく書こうとしている。 常に始筆の位置に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：拡大文字などを使って，書き始めるところに気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも，始筆の位置に気をつけて書くよう意識づける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6月	2	④せんの とちゅうのかきかた	○送筆（「まがり」「おれ・おりかえし」「むすび」）の書き方を理解することができる。 ○送筆の書き方に気をつけて、正しく書くことができる。	アイ	B：送筆の書き方について理解している。送筆の書き方に気をつけて書いている。 A：送筆の書き方について、よく理解している。字形を整えて送筆を書いている。 支援：教科書の図版をなぞりながら、それぞれの送筆において大切な点について注意を促す。書きにくい送筆については、その部分を中心とした運筆練習を行う。	B：送筆の書き方について考えている。 A：送筆の書き方の良しあしを考えている。 支援：字形が整っていない文字例を提示して、正しい送筆の書き方と比べることができるようにする。	B：送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。他の文字でも送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A：送筆の書き方に気をつけて、積極的に書こうとしている。常に送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援：水書用紙などを使って、運筆の過程が意識できるようにする。学習した以外の文字でも、同じ書き方があることに気づくようにはたらきかける。
	2	⑤にて いる ひらがな	○形が似ている平仮名について、違うところを理解することができる。 ○形が似ている平仮名について、違うところに気をつけて書くことができる。	アイウ	B：似ている平仮名どうしの類似点や相違点を理解している。似ている平仮名どうしの類似点や相違点に気をつけて書いている。 A：似ている平仮名どうしの類似点や相違点を、よく理解している。似ている平仮名どうしの類似点や相違点に気をつけて、正しく書くことができる。 支援：「まがり」「おりかえし」「むすび」に気をつけて丁寧に書くように声をかける。それぞれのます目に番号をつけるなどして理解を促す。	B：似ている平仮名どうしの類似点や相違点について考えている。 A：似ている平仮名どうしの類似点や相違点について、よく考えている。 支援：教科書を見て、文字のどの部分が同じでどの部分が違うのか、説明できるようにする。	B：似ている平仮名どうしの類似点や相違点を意識しながら書こうとしている。他の文字でも平仮名どうしの類似点や相違点に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A：似ている平仮名どうしの類似点や相違点を意識しながら、積極的に書こうとしている。常に似ている平仮名どうしの類似点や相違点に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援：似ている部分を指でなぞったり、違う部分を言葉で説明したりして確かめられるようにする。学習した以外の文字でも、類似点や相違点に気をつけて書くように意識づける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7月	1	⑥ますめの なかの かく ところ	○拗音・促音，句読点，かぎ，濁点の書く位置や大きさを理解することができる。 ○ます目の中の書く位置に気をつけて，言葉や文章の中で正しく書くことができる。	アイウ	B ：拗音・促音などの書く位置や大きさについて理解している。 拗音・促音などを正しい位置で書いている。 A ：拗音・促音などの書く位置や大きさについて，よく理解している。 拗音・促音などを正しい位置で，大きさに気をつけて書いている。 支援 ：拗音・促音を大きく書くと意味が変わってしまう言葉を例示して注意を促す。 一ますを四つにくぎって，どの位置にどれくらいの大きさを書いたらよいか，具体的に説明する。	B ：拗音・促音などの書く位置や大きさについて考えている。 A ：拗音・促音などの書く位置や大きさの良しあしを考えている。 支援 ：教科書を参照して，拗音・促音などの正しい位置や大きさが確かめられるようにする。	B ：拗音・促音などに気をつけて書く意識をもっている。 他の文字でも，拗音・促音などに気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：拗音・促音などに気をつけて，積極的に書こうとしている。 常に拗音・促音などに気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：どれが拗音・促音なのかがわかるように説明する。 学習した以外の文字でも，拗音・促音などの位置や大きさに気をつけて書くよう意識づける。
	1	⑦じの かたち	○それぞれの文字の，おおよその形を理解することができる。 ○文字の外形に気をつけて，正しく書くことができる。	アイウ	B ：文字の外形を理解し，練習文字のまわりを「しかく」「さんかく」「まる」に囲んでいる。 おおよその形に気をつけて書いている。 A ：文字の外形をよく理解し，練習文字のまわりを「しかく」「さんかく」「まる」に囲んでいる。 おおよその形に気をつけて，字形を整えて書いている。 支援 ：おおよその形を身近なものにたとえて，どのような形かを具体的に説明する。 外形が書いてある練習用紙の中に文字を書き，おおよその形を確かめられるようにする。	B ：文字のおおよその形について考えている。 A ：文字のおおよその形について，よく考えている。 支援 ：文字のまわりを鉛筆で囲み，おおよそどのような形になるか確かめられるようにする。	B ：文字のおおよその形に気づき，学習への意欲をもっている。 他の文字でも文字の形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：文字のおおよその形に気づき，積極的に学習に取り組もうとしている。 常に文字の形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：おおよその形を身近なものにたとえて，文字の形の違いが確かめられるようにする。 他の文字でも，文字の形のの違いがあることに気づくようにはたらきかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	適時	【レッツ・トライ】 一よこがきの かきかた	○横書きの書き方を理解することができる。 ○数字の書き順と字形に気をつけて書くことができる。	アイウ	B ：横書きの書き方を理解して書いている。 A ：横書きの書き方を、よく理解して書いている。 支援 ：数字の書き方についても、誤りやすい例をあげながら、正しい字形を確かめられるようにする。 十字線を入れたます目用紙を使って、正しい位置を確かめられるようにする。	B ：縦書きの書き方との違いについて考えている。 A ：縦書きの書き方との違いについて、よく考えている。 支援 ：教科書を参照して、横書きの場合の拗音・促音などの正しい位置が確かめられるようにする。	B ：横書きの書き方について知り、学習への意欲をもっている。 他の言葉でも、横書きの書き方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：横書きの書き方について知り、積極的に学習に取り組もうとしている。 常に横書きの書き方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：拗音、促音、句読点は、ます目の中のどの位置に書くのか、確かめられるようにする。
	1	⑧ひらがなの ひょう	○平仮名の書き順と字形に気をつけて、正しく書くことができる。	アイウ	B ：平仮名の正しい書き順や字形について理解している。 平仮名の書き順や字形に気をつけて書いている。 A ：平仮名の正しい書き順や字形について、よく理解している。 平仮名の書き順に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：正しい書き順や字形について、平仮名の表で確かめられるよう促す。 まちがえやすい書き順や字形について具体的に説明する。	B ：平仮名の書き順や字形について考えている。 A ：平仮名の書き順や字形の良しあしについて、考えている。 支援 ：拡大文字や色分け文字などを使って、正しい書き順や字形が確かめられるようにする。	B ：平仮名の表を見ながら、先生や友達の名前やさまざまな言葉を書く活動に、取り組もうとしている。 A ：平仮名の表を見ながら、先生や友達の名前やさまざまな言葉を書く活動に、積極的に取り組もうとしている。 支援 ：これまでの学習を想起して、書き順や字形に気をつけて書くよう呼びかける。 書写の授業以外でも、書き順や字形に気をつけて平仮名を書くよう意識づける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9月	3	3 かたかなのがくしゅう ①かたかなのかきかた	○片仮名の終筆（「とめ」「はね」「はらい」と送筆（「おれ」「まがり」）に気をつけて、正しく書くことができる。	アイウ	B ：片仮名の終筆と送筆の書き方について理解している。 終筆と送筆を正しく書いている。 A ：片仮名の終筆と送筆の書き方について、よく理解している。 字形を整えて、終筆と送筆を書いている。 支援 ：「とめ」「はね」「はらい」は動作化し、「おれ」「まがり」は視覚的に表現するなどして、理解を促す。 平仮名と異なる部分について注意を促す。	B ：片仮名の終筆と送筆の書き方について考えている。 A ：片仮名の終筆と送筆の書き方の良しあしを考えている。 支援 ：平仮名で学習した終筆と送筆の書き方を想起するよう促す。	B ：片仮名の終筆と送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。 他の片仮名の言葉でも終筆と送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：片仮名の終筆と送筆の書き方に気をつけて、積極的に書こうとしている。 常に片仮名の終筆と送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：拡大文字や水書用紙などを使って、終筆と送筆の書き方について関心を高める。 学習した以外の文字でも、同じ書き方があることに気づくようにはたらきかける。
		②じのかたち	○片仮名の外形の違いを理解して、正しく書くことができる。	アイウ	B ：片仮名のおおよその形を理解している。 片仮名の外形に気をつけて、正しく書いている。 A ：片仮名のおおよその形の違いを、よく理解している。 片仮名の外形の違いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：おおよその形を身近なものにたとえて、どのような形か具体的に説明する。 外形が書いてある練習用紙の中に文字を書き、おおよその形を確かめられるようにする。	B ：片仮名の外形について考えている。 B ：片仮名の外形の違いについて考えている。 支援 ：おおよその形を身近なものにたとえて、外形が確かめられるようにする。	B ：片仮名の外形に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも、文字の外形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：片仮名の外形の違いに気をつけて、積極的に書こうとしている。 常に文字の外形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：おおよその形をかたどったものを使って、形の違いに気づくようにはたらきかける。 学習した以外の文字でも、外形に気をつけて書くよう、仲間の漢字を示して意識づける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		③にて いる じ	○文字の形が似ている片仮名を，点画の方向の違いを理解して，正しく書くことができる。 ○片仮名と平仮名の違いを理解して，片仮名で書く言葉を正しく書くことができる。	アイウ	B：「点」と「はらい」の方向について理解している。「点」と「はらい」の方向に気をつけて書いている。片仮名と平仮名の違いを理解して書いている。 A：「点」と「はらい」の方向の違いを，よく理解している。片仮名と平仮名の違いに気をつけて，字形を整えて書いている。 支援：おおよその形を身近なものにたとえて，どのような形かを具体的に説明する。外形が書いてある練習用紙の中に文字を書き，おおよその形を確かめられるようにする。	B：払う方向の違いについて考えている。片仮名と平仮名の形のの違いについて考えている。 A：払う方向の違いについてよく考えている。片仮名と平仮名の字形の違いについてよく考えている。 支援：『ツ』は「つ」，『シ』は『し』の運筆方向で書くと間違えずに書けるなどの例示をして，筆順と字形が確かめられるようにする。	B：片仮名と平仮名の形のの違いに気をつけて書こうとしている。他の文字でも，片仮名の字形に気をつけて書こうとしている。 A：片仮名と平仮名の形のの違いに気をつけて，積極的に書こうとしている。他の文字でも，常に字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援：おおよその形をかたどったものを使って，字形の違いに気づくようにはたらきかける。学習した以外の文字でも，字形に気をつけて書くよう，仲間の漢字を示して意識づける。
10月	2	学しゅうの すすめかた 4 かん字の 学しゅう ①かくの おわりの かきかた	○漢字の終筆（「とめ」「はね」「はらい」）の書き方を理解することができる。 ○漢字の終筆（「とめ」「はね」「はらい」）の書き方に気をつけて，正しく書くことができる。	アイウ	B：終筆の書き方を理解している。終筆を正しく書いている。 A：終筆の書き方の違いを理解している。字形を整えて，終筆を書いている。 支援：終筆の書き方を動作や言葉で表して理解を促す。字形が整っていない文字例を提示して，終筆の正しい書き方と比べてみることができるようにする。	B：終筆の書き方について考えている。 A：終筆の書き方の良しあしを考えている。 支援：平仮名や片仮名で学習した終筆の書き方を想起するよう促す。	B：終筆の書き方に気をつけて書こうとしている。他の文字でも終筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A：終筆の書き方に気をつけて，積極的に書こうとしている。常に終筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援：拡大文字や水書用紙などを使って，終筆に気をつけるよう呼びかける。学習した以外の文字でも，同じ書き方があることに気づくようにはたらきかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	2	②かくの とちゅうの かきかた	○漢字の送筆（「おれ」「まがり」「そり」）を理解することができる。 ○漢字の送筆（「おれ」「まがり」「そり」）に気をつけて、正しく書くことができる。	アイウ	B ：送筆の書き方について理解している。 送筆を正しく書いている。 A ：送筆の書き方の違いについて、よく理解している。 字形を整えて送筆を書いている。 支援 ：送筆の書き方を「ぐうっ」と唱えたり、動作やイラストで表したりすることで理解を促す。 字形が整っていない文字例を提示して、送筆の正しい書き方と比べてみるができるようにする。	B ：送筆の書き方について考えている。 A ：送筆の書き方の良しあしを考えている。 支援 ：平仮名や片仮名で学習した送筆の書き方を想起するよう促す。	B ：送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：送筆の書き方に気をつけて、積極的に書こうとしている。 常に送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：拡大文字や水書用紙などを使って、送筆に気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも、同じ書き方があることに気づくようにはたらきかける。
11月	2	③文字の かたち	○漢字の外形の違いを理解することができる。 ○漢字の外形の違いに気をつけて、正しく書くことができる。	アイウ	B ：文字の外形を理解し、練習文字のまわりを囲んでいる。 外形の違いに気をつけて書いている。 A ：文字の外形をよく理解し、練習文字のまわりを囲んでいる。 外形の違いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：おおよその形を身近なものにたとえて、どのような形かを具体的に説明する。 外形が書いてある練習用紙の中に文字を書き、おおよその形を確かめられるようにする。	B ：文字の外形の違いを考えている。 A ：文字の外形の違いを、よく考えている。 支援 ：文字のまわりを鉛筆で囲み、おおよそどのような形になるか確かめられるようにする。	B ：文字の外形の違いに気づき、学習への意欲をもっている。 他の文字でも文字の形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：文字の外形の違いに気づき、積極的に学習に取り組もうとしている。 常に文字の形の違いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：おおよその形を身近なものにたとえて、文字の形の違いが確かめられるようにする。 学習した以外の文字でも、文字の形の違いがあることに気づくようにはたらきかける。
	2	④かきじゅん	○書き順の原則（上から下へ、左から右へ、横から縦へ）を理解することができる。 ○書き順に従って、文字を正しく書くことができる。	アイウ	B ：書き順の原則を理解している。 書き順の原則に従って、正しく書いている。 A ：それぞれの文字の書き順の違いについて、よく理解している。 書き順の原則に従って、字形を整えて書いている。 支援 ：教科書の脚注や巻末漢字表などを使って、正しい書き順について理解を促す。 書き順を声に出しながら書けるようにする。	B ：書き順の原則について考えている。 A ：書き順の原則や字形について、よく考えている。 支援 ：色分け文字などを使って、正しい書き順が確かめられるようにする。	B ：書き順の原則に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも、書き順の原則に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：書き順の原則に気をつけて、意欲的に書こうとしている。 常に書き順の原則に気をつけて、字形を整えて書こうとする意識をもっている。 支援 ：書き順を色分けした文字などを使って、書き順に原則があることに気づくようにはたらきかける。 学習した以外の文字でも、書き順に従って書くように意識づける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
12月	3	⑤かきぞめ	○書き出しの位置や、句読点を書く位置に気をつけて、正しく書くことができる。 ○鉛筆やフェルトペンを正しく持ち、書き順や字形（「とめ」「はね」「はらい」）に気をつけて、丁寧に書くことができる。	アイウ	B ：書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形について理解して書いている。 A ：書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形についてよく理解し、字形を整えて書いている。 支援 ：自分が書いた文字について、正しい文字と比べてみるができるようにする。 今までの学習を想起しながら、書き順や字形に気をつけるよう呼びかける。	B ：書き出しの位置や、句読点を書く位置について考えている。 書き順や字形について考えている。 A ：書き出しの位置や、句読点について、よく考えている。 書き順や字形について、よく考えている。 支援 ：今までに学習した内容を確認られるようにする。	B ：書き出しの位置や、句読点を書く位置に気をつけて書こうとしている。 書き順や字形に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形に気をつけて、積極的に書こうとしている。 常に書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：今までの学習を想起しながら、苦手とする部分について重点的に取り組むようはたらきかける。 学習した以外の文字でも気をつけて書くよう意識づける。
1月	2	⑥かくの　ながさ　ほうこう	○画の長さの違いを理解することができる。 ○画の長さの違いに気をつけて、正しく書くことができる。 ○「おれ」の方向の違いを理解することができる。 ○「おれ」の方向の違いに気をつけて、正しく書くことができる。	アイウ	B ：画の長さの違いについて理解している。 「おれ」の方向の違いについて理解している。 画の長さに気をつけて書いている。 「おれ」の方向に気をつけて書いている。 A ：画の長さの違いについて、よく理解している。 「おれ」の方向の違いについて、よく理解している。 画の長さに気をつけて、字形を整えて書いている。 「おれ」の方向に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：拡大文字などを使って、画の長さや「おれ」の方向の違いを比べてみるができるようにする。 どの画を長く書くのかを具体的に説明する。 「おれ」の方向の違いについて、具体的に説明する。	B ：画の長さの違いについて考えている。 「おれ」の方向の違いについて考えている。 A ：画の長さの違いについて、よく考えている。 「おれ」の方向の違いについて、よく考えている。 支援 ：拡大文字などを使って、画の長さや方向の違いが確かめられるようにする。	B ：画の長さに気をつけて書こうとしている。 「おれ」の方向の違いに気をつけて書こうとしている。 他の文字でも画の長さに気をつけて書こうとする意識をもっている。 他の文字でも「おれ」の方向に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：画の長さに気をつけて、意欲的に書こうとしている。 「おれ」の方向の違いに気をつけて、積極的に書こうとしている。 常に画の長さの違いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 常に「おれ」の方向の違いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：教科書のイラストなどを使って、画の長さや方向について関心を高めるよう促す。 学習した以外の文字でも、画の長さの違いや「おれ」の方向の違いがあることに気づくようにはたらきかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1・2月	2	【かいて つたえあおう】 ありがとうカードをかこう	○学習したことを生かして、字形や書き順に気をつけて、丁寧に書くことができる。	アイウ	B ：カードの書き方について理解している。 字形や書き順に気をつけて書いている。 A ：カードの書き方について、よく理解している。 字形や書き順に気をつけて、丁寧に書いている。 支援 ：教科書の作例を提示するなどして、書き方について理解を促す。 巻末漢字表などを活用し、字形や書き順を確かめられるようにする。	B ：カードの書き方について、考えている。 A ：カードの書き方について、よく考えている。 支援 ：教科書の作例を提示するなどして、書き方について考えるよう促す。	B ：友達に贈るカードを、相手意識をもって意欲的に書こうとしている。 他の学習場面においても、相手のことを考えて丁寧に書く意識をもっている。 A ：友達に贈るカードを、相手意識をもって、積極的に書こうとしている。 常に相手のことを考えて、丁寧に書く意識をもっている。 支援 ：メッセージを伝えたい相手とその内容について考えることができるよう、具体例をもとに促す。 他の学習場面においても、字形に気をつけて丁寧に書くよう意識づける。
2月	2	学しゅうの まとめ	○1年間の書写学習を振り返り、学習した内容を確認することができる。 ○字形や書く位置に気をつけて、丁寧に書くことができる。	アイウ	B ：文字の形や書く位置について理解している。 字形や書く位置に気をつけて書いている。 A ：文字の形や書く位置について、よく理解している。 書く位置に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：字形や書く位置について確かめられるようはたらきかける。 字形や書く位置について確かめられるようはたらきかける。	B ：今まで学習した内容について考えている。 A ：今まで学習した内容について、よく考えている。 支援 ：今まで学習した内容を、教科書を見ながら想起するようはたらきかける。	B ：学習したことを生かして書こうとしている。 他の文章でも、字形や書く位置に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：学習したことを生かして、積極的に書こうとしている。 常に字形や書く位置に気をつけて、字形を整えて書こうとする意識をもっている。 支援 ：今まで学習した内容について、グループで話し合うよう促す。 学習した以外の文章でも、字形や書く位置に気をつけて、丁寧に書くよう意識づける。
	適時	ひっきようぐを え らんで かこう	○書く目的に合わせた筆記用具を選ぶことを知ることができる。	アイウ	B ：筆記用具の使い方を理解している。 自分の名前を丁寧に書いている。 A ：筆記用具の使い方を、よく理解している。 筆記用具の特徴を生かして、自分の名前を丁寧に書いている。 支援 ：フェルトペンを使う際の留意点を確かめられるようにする。 学習したことを生かして丁寧に書くようはたらきかける。	B ：筆記用具の種類と用途の違いについて考えている。 A ：筆記用具の種類と用途の違い、効果の違いについて考えている。 支援 ：筆記用具によって線の太さなどが違うことが確かめられるようにする。	B ：筆記用具の違いを意識して、確かめようとしている。 他の文字でも筆記用具の使い方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：筆記用具と用途の違いを意識して、確かめようとしている。 常に筆記用具の使い方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：筆記用具の違いに気づくよう、書き比べて確かめられるようにする。 他の学習場面や日常生活の中でも、気をつけて書くよう意識づける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3月	1	【しりたい 文字のせかい】 なんの かたちからできた かん字かな	○自然の形からできた漢字があることを知り，文字に対する興味・関心を高めることができる。	アイウ	B ：漢字の成り立ちについて理解している。 学習した漢字について，字形に気をつけて書いている。 A ：漢字の成り立ちについて，よく理解している。 学習した漢字について，字形を整えて書いている。 支援 ：漢字の成り立ちを視覚的にとらえられるようにする。 今までの学習を生かして，丁寧に書くように助言する。	B ：漢字の成り立ちについて考えている。 A ：漢字の成り立ちについて，よく考えている。 支援 ：教科書の成り立ちクイズに取り組むなど，成り立ちについて考えるよう支援する。	B ：漢字の成り立ちに対する興味・関心をもって書こうとしている。 他の漢字についても，その成り立ちについて関心をもっている。 A ：漢字の成り立ちに対する興味・関心をもち，積極的に書こうとしている。 他の漢字についても，その成り立ちについて関心をもって調べている。 支援 ：教科書の図版を拡大提示し，関心を高める。 他の漢字についても，成り立ちについて関心が高まるようにはたらきかける。
	1	【かん字の ひょう】 一年生で 学しゅうする かん字	○1年生で学習した終筆（「とめ」「はね」「はらい」）や送筆（「おれ」「まがり」「そり」）などの漢字の書き方を確かめることができる。	アイウ	B ：終筆・送筆の書き方や，書き順や字形について理解している。 送筆・終筆などの違いによって，漢字の仲間集めなどを行っている。 A ：終筆・送筆の書き方や，書き順や字形について，よく理解している。 終筆・送筆などの違いによって，漢字を正しくグループ分けしている。 支援 ：拡大文字などを使って，終筆・送筆の書き方や，筆順や字形などを比べてみるができるようにする。 どの文字のどのようなところに着目してさがすか，具体的に説明する。	B ：終筆・送筆の書き方や，書き順や字形の良しあしを考えている。 A ：終筆・送筆の書き方や，書き順や字形の良しあしについて，よく考えている。 支援 ：拡大文字などを使って，終筆・送筆の正しい書き方や字形などが確かめられるようにする。	B ：終筆・送筆の書き方や，書き順や字形を確かめようとしている。 他の文字でも終筆・送筆の書き方や，書き順や字形に気をつけようとする意識をもっている。 A ：終筆・送筆の書き方や，書き順や字形に気をつけて，積極的に書こうとしている。 常に終筆・送筆の書き方や，書き順や字形に気をつけようとする意識をもっている。 支援 ：漢字表の中で，同じ書き方がある漢字の仲間集めをして関心を高めるようにする。学習した以外の文字でも，気をつけるよう意識づける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	適時	しょしゃの　たいそう	○1年生で学習した始筆，送筆，終筆の書き方について，興味・関心を高めながら確かめることができる。	アイウ	B ：始筆，送筆，終筆の書き方について理解している。 A ：始筆，送筆，終筆の書き方について，よく理解している。 支援 ：理解できない書き方に焦点化して，個別に支援する。	B ：始筆，送筆，終筆の書き方について考えている。 A ：始筆，送筆，終筆の書き方について，よく考えている。 支援 ：字形と動作が対応しにく場合は，「おれ」と「曲がり」の違いなど，比較をとおして確かめられるようにする。	B ：これまでに学習した始筆，送筆，終筆の書き方について確かめようとしている。 他の文字でも始筆，送筆，終筆の書き方に気をつけようとする意識をもっている。 A ：これまでに学習した始筆，送筆，終筆の書き方について，積極的に確かめようとしている。 常に始筆，送筆，終筆の書き方に気をつけようとする意識をもっている。 支援 ：動作がとりにくい場合は，教師や周りの児童の動作を見ることで理解できるよう，声がけをする。 学習した以外の文字でも，気をつけるよう意識づける。
		【かたかなの　ひょう】 水しょうしの つかいかた もくじ	○片仮名の書き順や字形，拗音・促音・音引きなどの書くきまりを確認することができる。 ○片仮名の言葉を探す活動に，意欲的に取り組むことができる。	アイウ	B ：片仮名の筆順や字形について理解している。 A ：片仮名の筆順や字形について，よく理解している。 支援 ：ふだん，字形が整えにくい文字に関して，教科書を見ながら確認できるようにする。	B ：片仮名の字形や筆順について考えている。 A ：片仮名の字形や筆順について，よく考えている。 支援 ：間違えやすい片仮名の字形について，重点的に確かめられるように呼びかける。	B ：片仮名の筆順や字形を確かめている。 片仮名の言葉を探している。 常に片仮名の筆順や字形を確かめようとする意識をもっている。 A ：片仮名の筆順や字形を，積極的に確かめている。 片仮名の言葉を，積極的に探している。 常に片仮名の筆順や字形を確かめて，丁寧に書こうとする意識をもっている。 支援 ：間違えやすい筆順について，重点的に確かめられるように呼びかける。 書写の授業以外でも，常に気をつけるよう意識づける。

令和5年度 書写 評価規準（2年生）

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 月	1	町の 文字たんけん	○町の中には、いろいろな文字があることに気づき、文字や書写学習に対する関心を高めることができる。	アイウ	B ：町の中にあるさまざまな文字に気づいている。 町の中にある文字をノートに書いている。 A ：町の中にあるさまざまな文字に、よく気づいている。 町の中にあるさまざまな文字をノートに書いている。 支援 ：文字が書かれている場所について知らせる。 カードに書く方法について説明する。	B ：町の中にあるさまざまな文字が何のために書かれているのか、考えている。 A ：町の中にあるさまざまな文字が何のために書かれているのか、よく考えている。 支援 ：文字が提示されていると便利である例について気づくようにする。	B ：町の中にあるさまざまな文字を探そうとしている。 A ：町の中にあるさまざまな文字を、粘り強く探そうとしている。 身のまわりには多くの文字があることに気づき、文字を意識的に見たり読んだりしている。 支援 ：文字はどんなところで見つけられるか、身近な場所を説明する。 ふだんの生活の中で見られる文字について、具体的に説明する。
	1	もくじ 学しゅうの めあて 1 はじめの 学しゅう ①文字を 書く しせい ②えんぴつの もち方 ③学しゅうの すすめ方 ④しよしやの 体そう	○1年生の書写学習で身につけたよい姿勢・鉛筆の持ち方、学習の進め方を確認することができる。	アイウ	B ：よい姿勢・鉛筆の持ち方がわかっている。 よい姿勢・鉛筆の持ち方で、点画の書き方を理解して書いている。 学習の進め方を理解している。 A ：よい姿勢・鉛筆の持ち方で書くことを理解している。 よい姿勢・鉛筆の持ち方で、点画の書き方をよく理解して書いている。 学習の進め方を、よく理解している。 支援 ：よい姿勢・鉛筆の持ち方で書くことの大切さについて理解を促し、ポイントを具体的に説明する。 点画の書き方について、「すうっ」「ぴたっ」などの声がけをしながら一緒に運筆の動作をする。 学習の進め方を常に確認できるように、各手順を黒板に貼っておく。	B ：よい姿勢・鉛筆の持ち方について考えている。 点画の書き方について運筆方法を考えている。 学習の進め方について、流れを考えている。 A ：自分の姿勢・鉛筆の持ち方の良さしを考えている。 点画の書き方について、運筆方法をよく考えている。 学習の進め方について、流れをよく考えている。 支援 ：どこを正すと姿勢・鉛筆の持ち方がよくなるかを、基準に照らして説明する。 止めるところ、筆圧をかけるところなどに焦点化して説明する。 なぜ試し書きをするのか具体的に説明する。	B ：ふだんの書く場面でも、よい姿勢やよい持ち方で書こうとする意識をもっている。 他の文字を書く場面でも、点画の書き方に気をつけて書く意識をもっている。 A ：常に、よい姿勢・鉛筆の持ち方で書こうとする意識をもっている。 ふだんの書く場面でも、点画の書き方に気をつけて書く意識をもっている。 支援 ：よい姿勢・鉛筆の持ち方で書くことができるように意識づける。 書写の授業以外でも気をつけるように呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5 月	3	2 かたかなの 学 しゅう 画の 方こう	○片仮名の画の方向の違いを理解することができる。 ○片仮名の画の方向の違いに気をつけて、正しく書くことができる。 ○促音，長音，濁音，半濁音の書き方と書く位置を確かめて書くことができる。	アイウ	B ：「はらい」の方向について理解している。 「はらい」の方向に気をつけて書いている。 A ：「はらい」の方向の違いを，よく理解している。 支援 ：自分が書きにくい文字について，正しい書き方と比べてみるができるようにする。	B ：払う方向の違いについて考えている。 A ：払う方向の違いについて，よく考えている。 支援 ：教科書のイラストなどを使って，払う方向の違いが確かめられるようにする。	B ：他の文字でも，片仮名の字形に気をつけて書こうとしている。 A ：片仮名の終筆と送筆に気をつけて，積極的に書こうとしている。 支援 ：教科書のイラストなどを使って，片仮名の言葉を書く活動に関心をもつようはたらきかける。
6 月		【レッツ・トライ】 ① メモの とり方 —お話の 聞きとり メモ	○話をよく聞いて，大事なことをメモすることができる。 ○字形を整えて，丁寧にまとめカードを書くことができる。	アイウ	B ：メモの取り方を理解している。 A ：メモの取り方を，よく理解している。 支援 ：線を引かなかった部分に着目し，メモを取るときに省略した内容に気づくよう促す。	B ：メモの取り方について考えている。 A ：メモの取り方について，よく考えている。 支援 ：教科書のメモを取るときの注意を参考にしよう指示する。	B ：メモの取り方に気をつけて書こうとしている。 A ：他の学習場面や日常生活でも，メモの取り方に気をつけて積極的に書こうとしている。 支援 ：メモの取り方を身につけると，学習場面や日常生活で生かせることを知らせる。
	3	【レッツ・トライ】 ② よこ書きの 書き方 —算数の ノート	○横書きの書き方や，数字の書き順と字形に気をつけて書くことができる。 ○他教科の学習や日常生活のなかで，横書きの書き方に気をつけて書こうとする意欲をもつことができる。	アイウ	B ：横書きの書き方を理解して書いている。 A ：横書きの書き方を，よく理解して書いている。 支援 ：数字の書き方についても，誤りやすい例をあげながら，正しい字形を確かめられるようにする。 十字線を入れたます目用紙を使って，正しい位置を確かめられるようにする。	B ：縦書きの書き方との違いについて考えている。 A ：縦書きの書き方との違いについて，よく考えている。 支援 ：教科書を参照して，横書きの場合の拗音，促音などの正しい位置が確かめられるようにする。	B ：横書きの書き方について知り，学習への意欲をもっている。他の言葉でも，横書きの書き方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：横書きの書き方について知り，積極的に学習に取り組もうとしている。常に横書きの書き方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：拗音，促音，句読点は，ます目の中のどの位置に書くのか，確かめられるようにする。 学習した以外の文字でも，横書きの書き方に気をつけて書く意識をもつことができる。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6・7月	2	3 かん字の 学しゅう ①書きじゅん	○書き順の原則（横画から書く，長い縦画から書く）を理解することができる。 ○書き順に従い，文字を正しく書くことができる。 ○似ている部分のある文字を，書き順に従い，正しく書くことができる。	アイウ	B ：書き順の原則を理解している。書き順の原則に従って，正しく書いている。 A ：それぞれの文字の書き順の違いについて，よく理解している。書き順の原則に従って，字形を整えて書いている。 支援 ：教科書の脚注や巻末漢字表などを使って，正しい書き順について理解を促す。書き順を声に出しながら書けるようにする。	B ：書き順の原則について考えている。 A ：書き順の原則や字形について，よく考えている。 支援 ：色分け文字などを使って，正しい書き順が確かめられるようにする。	B ：他の文字でも，書き順の原則に気をつけて書こうとする意識を持っている。 A ：常に書き順の原則に気をつけて，字形を整えて書こうとする意識を持っている。 支援 ：書き順を色分けした文字などを使って，書き順に原則があることに気づくようにはたらきかける。
7～9月	4	②画の 方こう 文字を くらべて 話し合おう	○「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向の違いを理解することができる。 ○「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向に気をつけて，正しく書くことができる。	アイウ	B ：「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向の違いについて理解している。「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向に気をつけて，正しく書いている。 A ：「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向の違いについて，よく理解している。「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向に気をつけて，字形を整えて書いている。 支援 ：水書用紙などを使って，画の方向の違いを比べてみるができるようにする。	B ：「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向の違いについて考えている。 A ：「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向の違いについて，よく考えている。 支援 ：拡大文字などを使って，画の方向の違いについて確かめられるようにする。	B ：「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向に気をつけて書こうとしている。他の文字でも画の方向に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向に気をつけて，積極的に書こうとしている。常に，画の方向の違いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：教科書の図版を使って，画の方向について関心を高めるよう促す。他の文字でも，画の方向の違いがあることに気づくようにはたらきかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9・ 10月	3	③画の 長さ， 画と 画との 間	○画の長さの違いと，画と 画との間のとり方を理解す ることができる。 ○画の長さの違いと，画と 画との間のとり方に気をつ けて，正しく書くことがで きる。	アイウ	B ：画の長さの違いについて理解して いる。 画の長さに気をつけて書いている。 画と画との間のとり方について理解し ている。 画と画との間のとり方に気をつけて書 いている。 A ：画の長さの違いについて，よく理 解している。 画の長さに気をつけて，字形を整えて 書いている。 画と画との間のとり方について，よく 理解している。 画と画との間のとり方に気をつけて， 字形を整えて書いている。 支援 ：拡大文字などを使って，画の長 さや画と画との間のとり方を比べてみ ることができるようにする。 どの画を長く書くのかを具体的に説明 する。 画と画との間のとり方について，具体 的に説明する。	B ：画の長さの違いについて考えてい る。 画と画との間のとり方について考えて いる。 A ：画の長さの違いについて，よく考 えている。 画と画との間のとり方について，よく 考えている。 支援 ：拡大文字などを使って，画の長 さや画と画との間のとり方について確 かめられるようにする。	B ：他の文字でも画の長さに気をつけ て書こうとする意識をもっている。 他の文字でも画と画との間のとり方に 気をつけて書こうとする意識をもっ ている。 A ：常に画の長さの違いに気をつけて 書こうとする意識をもっている。 常に画と画との間のとり方に気をつけ て書こうとする意識をもっている。 支援 ：学習した以外の文字でも，画の 長さ，画と画との間のとり方に気をつ けて書くよう，仲間の漢字を示して意 識づける。
10月	2	④画の つき方と 交わり方	○画のつき方と交わり方を 理解することができる。 ○画のつき方と交わり方に 気をつけて，正しく書くこ とができる。	アイウ	B ：画のつき方と交わり方について理 解している。 画のつき方と交わり方に気をつけて書 いている。 A ：画のつき方と交わり方について， よく理解している。 正しい画のつき方と交わり方で，字形 を整えて書いている。 支援 ：拡大文字などを使って，画と画 とがつくところ・交わるところや，画 のつき方と交わり方を具体的に説明す る。 教科書の図版を参照しながら，画のつ き方と交わり方について確かめられる ようにする。	B ：画のつき方と交わり方について考 えている。 A ：画のつき方と交わり方について， よく考えている。 支援 ：拡大文字などを使って，画のつ き方と交わり方が確かめられるように する。	B ：他の文字でも，画のつき方と交わ り方に気をつけて書こうとする意識を もっている。 A ：常に画のつき方と交わり方に気を つけて書こうとする意識をもってい る。 支援 ：拡大文字などを使って，画のつ き方と交わり方に気づくようにはたら きかける。 学習した以外の文字でも，画のつき方 と交わり方に気をつけて書くよう，仲 間の漢字を示して意識づける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10・ 11月	3	⑤文字の 中心	○文字の中心（縦画が中心にある文字，書き出しが中心の文字など）を理解することができる。 ○文字の中心に気をつけて，正しく書くことができる。	アイウ	B ：文字の中心について理解している。 文字の中心に気をつけて，正しく書いている。 A ：文字の中心について，よく理解している。 文字の中心に気をつけて，字形を整えて書いている。 支援 ：文字の中心がわかりやすい文字を例にあげて理解を促す。 中心線があるます目を書くことで，自分の書いた文字について中心を確かめられるようにする。	B ：文字の中心について考えている。 A ：文字の中心について，よく考えている。 支援 ：拡大文字などを使って，文字の中心にあたる部分について確かめられるようにする。	B ：文字の中心に気をつけて書いている。 他の書写場面でも，文字の中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：文字の中心に気をつけて，字形を整えて書いている。 常に文字の中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：フェルトペンの文字や拡大文字などを使って，文字の中心になる部分を指でなぞるようにする。 書写の授業以外でも，文字の中心に気をつけて書くよう意識づける。
	適時	【知りたい 文字のせかい】 何の 形からできた かん字かな	○物の形からできた漢字があることを知り，文字に対する興味・関心を高めることができる。	アイウ	B ：自然や物の形からできた漢字があることを知っている。 学習した漢字について，字形に気をつけて書いている。 A ：自然や物の形からできた漢字があることを理解している。 学習した漢字について，字形を整えて書いている。 支援 ：漢字の成り立ちを視覚的に捉えられるようにする。 今までの学習を生かして，丁寧に書くように助言する。	B ：漢字の成り立ちについて考えている。 A ：漢字の成り立ちについて，よく考えている。 支援 ：教科書にある，漢字の成り立ちクイズに取り組むなど，漢字の成り立ちについて考えるよう支援する。	B ：他の漢字についても，その成り立ちについて関心をもっている。 A ：他の漢字についても，その成り立ちについて関心をもって調べている。 支援 ：他の文字を例示することで，漢字の成り立ちについて関心が高まるようにはたらきかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11・ 12月	2	⑥年がじょうと 書 きぞめ ●年がじょう	○年賀状の書き方を理解し、年賀状を書こうとする意欲をもつことができる。 ○字形や文字の中心に気をつけて、年賀状を丁寧に書くことができる。	アイウ	B ：年賀状の書き方について理解している。 年賀状の書き方を理解して書いている。 字形や中心について理解している。 字形や中心に気をつけて書いている。 A ：年賀状の書き方について、よく理解している。 字形や中心について、よく理解している。 年賀状の書き方をよく理解して書いている。 中心に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：相手に確実に届けるために正確に書くことを助言する。 行の中心が揃えにくい場合は、鉛筆で中心線を薄く書き、後で消すようにはたらきかける。	B ：年賀状の書き方について考えている。 字形や中心について考えている。 A ：年賀状の書き方について、よく考えている。 字形や中心について、よく考えている。 支援 ：教科書の教材を参照しながら、はがきの基本的な書き方について確認できるようにする。	B ：年賀状を書く活動に、積極的に取り組もうとしている。 字形や中心に気をつけて書こうとしている。 書写の授業以外でも、字形や中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：年賀状を書く活動に、すすんで取り組もうとしている。 中心に気をつけて、字形を整えて丁寧に書こうとしている。 常に書写の授業以外でも、字形や中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：これまで学習してきた、字形と中心に気をつけて取り組むようはたらきかける。 ふだんの生活の中でも気をつけて書くよう意識づける。
	3	●書きぞめ	○句読点の書き方のきまりを確認したり、フェルトペンの持ち方を理解したりして、書きぞめを書こうとする意欲をもつことができる。 ○鉛筆やフェルトペンを正しく持ち、字形や文字の中心に気をつけて、丁寧に書くことができる。	アイウ	B ：書き出しの位置や、句読点を書く位置、字形や文字の中心について理解している。 書き出しの位置や、句読点を書く位置に気をつけて正しく書いている。 字形や文字の中心に気をつけて正しく書いている。 A ：書き出しの位置や、句読点を書く位置、字形や文字の中心について、よく理解している。 書き出しの位置や、句読点を書く位置を正しく書いている。 文字の中心に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：自分が書いた文字について、正しい文字と比べてみるができるようにする。 今までの学習を想起しながら、字形や文字の中心に気をつけるよう呼びかける。	B ：書き出しの位置や、句読点を書く位置について考えている。 字形や文字の中心について考えている。 A ：書き出しの位置や、句読点について、よく考えている。 字形や文字の中心について、よく考えている。 支援 ：今までに学習した内容を確認められるようにする。	B ：書きぞめに対して、意欲的に取り組もうとしている。 字形や文字の中心に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：書きぞめに対して、積極的に取り組もうとしている。 文字の中心に気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：今までの学習を想起しながら、苦手とする部分について重点的に取り組むようはたらきかける。 学習した以外の文字でも気をつけて書くよう意識づける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 月	2	⑦文字の 形	○文字の外形の違いを理解することができる。 ○文字の外形に気をつけて、正しく書くことができる。	アイウ	B ：文字の外形の違いについて理解している。 文字の外形に気をつけて書いている。 A ：文字の外形の違いについてよく理解している。 文字の外形の違いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：おおよその形を身近なものにたとえて、どのような形かを具体的に説明する。 外形が書いてある練習用紙の中に文字を書き、おおよその形を確かめられるようにする。	B ：文字の外形の違いについて考えている。 A ：文字の外形の違いについて、よく考えている。 支援 ：文字のまわりを鉛筆で囲み、おおよそどのような形になるか確かめられるようにする。	B ：文字の外形の違いに気づき、学習への意欲をもっている。 他の文字でも文字の形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：文字の外形の違いに気づき、進んで学習に取り組んでいる。 常に文字の形の違いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：おおよその形を身近なものにたとえて、外形の違いが確かめられるようにする。 他の文字でも、文字の形の違いがあることに気づくようにはたらきかける。
1・ 2 月	4	【書いて つたえ合おう】	○学習したことを生かして、筆記用具や用紙を選び、丁寧に書くことができる。 ○これまで学習したことを生かして、書き順や字形に気をつけて、丁寧に書くことができる。	アイウ	B ：横書きのカードの書き方について理解している。 本の紹介カードの書き方について理解している。 字形や書き順に気をつけて書いている。 A ：横書きのカードの書き方について、よく理解している。 本の紹介カードの書き方について、よく理解している。 字形や書き順に気をつけて、丁寧に書いている。 支援 ：教科書の作例を提示するなどして、書き方について理解を促す。 巻末漢字表などを活用し、字形や書き順を確かめられる。	B ：招待状の書き方について考えている。 本の紹介カードの書き方について考えている。 A ：招待状の書き方について、よく考えている。 本の紹介カードの書き方について、よく考えている。 支援 ：教科書の作例を提示するなどして、書き方について考えるよう促す。	B ：他の学習場面においても、相手のことを考えて丁寧に書く意識をもっている。 A ：常に相手のことを考えて丁寧に書く意識をもっている。 支援 ：招待状を贈りたい相手と、伝える内容について考えることができるよう、具体例をもとに促す。 他の学習場面においても、字形に気をつけて丁寧に書くよう意識づける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3 月	2	学しゅうの まとめ	○1年間の書写学習を振り返り，学習した内容を確認することができる。 ○学習したことを生かして，時間割りの文字を正しく書くことができる。 ○字形や書く位置に気をつけて，丁寧に書くことができる。	アイウ	B ：字形や書く位置について理解している。 字形や書く位置に気をつけて，丁寧に書いている。 A ：字形や書く位置について，よく理解している。 書く位置に気をつけて，字形を整えて書いている。 支援 ：字形や書く位置について確かめられるようはたらきかける。 字形や書く位置について確かめられるようはたらきかける。	B ：今まで学習した内容について考えている。 A ：今まで学習した内容について，よく考えている。 支援 ：今まで学習した内容を，教科書を見ながら想起するようはたらきかける。	B ：学習したことを生かして，意欲的に書こうとしている。 他の文章でも，書く位置に気をつけて，字形を整えて書こうとする意識をもっている。 A ：学習したことを生かして，積極的に書こうとしている。 常に書く位置に気をつけて，字形を整えて書こうとする意識をもっている。 支援 ：今まで学習した内容について，グループで話し合うよう促す。 学習した以外の文章でも，書く位置に気をつけて，字形を整えて書くよう意識づける。
		【はってん】 三年生から 毛ひつ の 学しゅうが は じまるよ。	○3年生から始まる毛筆学習について，関心を高めることができる。				B ：3年生で学習する毛筆学習について，説明をよく聞いている。 A ：3年生で学習する毛筆学習について，説明をよく聞き，質問をしている。 支援 ：筆記用具の違いに気づくよう，書き比べて確かめられるようにする。
	適時	【かん字の ひょう】 二年生で 学しゅう する かん字 一年生で 学しゅう した かん字	○2年生で学習した内容（書き順，画の方向，画の長さ，画と画との間，画のつき方と交わり方，文字の中心，文字の形）を確かめることができる。 ○1年生で学習した漢字の終筆（「とめ」「はね」「はらい」）や送筆（「おれ」「まがり」「そり」）などの書き方を確かめることができる。 ○1年生で学習した字形の整え方や書き順などを確かめることができる。	アイウ	B ：始筆・送筆・終筆の書き方や画の長短・方向について理解している。 始筆・送筆・終筆などの違いによって，漢字の仲間さがしをしている。 A ：始筆・送筆・終筆の書き方や画の長短・方向，字形について，よく理解している。 始筆・送筆・終筆などの違いによって，漢字を正しくグループ分けしている。 支援 ：拡大文字などを使って，始筆・送筆・終筆の書き方や，画の長短・方向，字形などを比べてみるることができるようにする。 どの文字のどの部分に着目して探すか，具体的に説明する。	B ：始筆・送筆・終筆の書き方や，画の長短・方向について考えている。 A ：始筆・送筆・終筆の書き方や，画の長短・方向，字形の良さあしを考えている。 支援 ：拡大文字などを使って，始筆・送筆・終筆の正しい書き方や字形などが確かめられるようにする。	B ：始筆・送筆・終筆の書き方や，画の長短・方向などに気をつけて確かめようとしている。 他の文字でも始筆・送筆・終筆の書き方や画の長短・方向，字形に気をつけようとする意識をもっている。 A ：始筆・送筆・終筆の書き方や，画の長短・方向などに気をつけて，意欲的に書こうとしている。 常に始筆・送筆・終筆の書き方や画の長短・方向，字形に気をつけようとする意識をもっている。 支援 ：拡大文字などを使って，始筆・送筆・終筆の書き方などに気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも，気をつけるよう意識づける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		【ひらがなの ひょう・かたかなの ひょう】	○平仮名・片仮名の書き順や字形，拗音，促音，長音などの書くきまりを確認することができる。 ○平仮名・片仮名の言葉を探す活動に，意欲的に取り組むことができる。	アイウ	B ：平仮名と片仮名の筆順や字形について理解している。 A ：平仮名と片仮名の筆順や字形について，よく理解している。 支援 ：ふだん，字形が整えにくい文字に関して，教科書を見ながら確認できるようにする。	B ：平仮名と片仮名の字形や筆順について考えている。 A ：平仮名と片仮名の字形や筆順について，よく考えている。 支援 ：間違いやすい字形について，重点的に確かめられるように呼びかける。	B ：平仮名と片仮名の筆順や字形を確かめている。 片仮名の言葉を探している。 他の片仮名でも筆順や字形を確かめようとする意識をもっている。 A ：平仮名と片仮名の筆順や字形を，積極的に確かめている。 片仮名の言葉を，積極的に探している。 常に筆順や字形を確かめて，丁寧に書くようとする意識をもっている。 支援 ：間違いやすい筆順について，重点的に確かめられるように呼びかける。 書写の授業以外でも，常に気をつけるよう意識づける。

令和5年度 書写 評価規準（3年生）

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	2	毛筆の学習が始まるよ 学習の進め方 目次 1 はじめの学習 1 毛筆用具の名前と、 おき方やあつかい方 2 よいしせいと筆の持 ち方 3 筆の「ほ」のやわら かさ 4 力の入れ方（筆圧） 5 あとかたづけ	○1年間の学習内容や学習 の進め方について知り、書 写学習に対する意欲をもつ ことができる。 ○用具の扱い方や筆の持ち 方について知り、よい姿勢 や持ち方を意識して書くこ とができる。 ○筆の穂の柔らかさや筆圧 を意識して、いろいろな太 さの線を書くことができ る。	アイウ	B ：毛筆で学習する意味や学習の進め 方について理解している。 用具の扱い方、よい姿勢、筆の持ち方 を理解している。 用具の扱い方、よい姿勢、筆の持ち方 が身についている。 A ：毛筆で学習する意味や学習の進め 方について、よく理解している。 用具の扱い方、よい姿勢、筆の持ち方 を、よく理解している。 用具の扱い方、よい姿勢、筆の持ち方 が、よく身についている。 支援 ：教科書の姿勢図を確認し、「よ いしせいの合い言葉」を一斉に唱えな がら確かめられるようにする。 用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方 のポイントを具体的に説明する。	B ：毛筆で学習する意味や学習の進め 方の流れについて考えている。 用具の扱い方、よい姿勢、筆の持ち 方、筆の扱い方について考えている。 A ：毛筆で学習する意味や学習の進め 方について、よく考えている。 用具の扱い方、よい姿勢、筆の持ち 方、筆の扱い方の良しあしについて考 えている。 支援 ：どこを正すと姿勢、筆の持ち方 がよくなるのかを、基準に照らしてわ かるようにする。	B ：毛筆書写に関心をもち、取り組も うとしている。 用具を丁寧に取り扱い扱っている。 よい姿勢、筆の持ち方を身につけよう としている。 他の書写場面でも、よい姿勢、筆の持 ち方で書こうとする意識をもってい る。 A ：毛筆書写に積極的に取り組もうと している。 用具を適切に取り扱っている。 よい姿勢、筆の持ち方を、積極的に身 につけようとしている。 常により姿勢、筆の持ち方で書こうと する意識をもっている。 支援 ：用具の配置図や姿勢図、筆の持 ち方の写真と比べて、自分でチェック できるようにする。 書写の授業以外でも気をつけるように 呼びかける。
				アウ	B ：穂の柔らかさと筆圧について知っ ている。 筆圧に気をつけて、いろいろな太さの 線を書いている。 A ：穂の柔らかさと筆圧について、理 解している。 筆圧を調整しながら、いろいろな太さ の線を書いている。 支援 ：教科書の紙面を参照しながら、 筆圧のかけ方について理解を促す。 筆の状態を確認し、運筆しやすい状態 に整えるようにする。	B ：筆の穂の柔らかさや筆圧について 考えている。 A ：筆の穂の柔らかさや筆圧につい て、よく考えている。 支援 ：教科書紙面を参照しながら、筆 圧を三段階でとらえて、力の入れ方と 太さを確かめられるようにする。	B ：筆の穂の柔らかさや筆圧を意識し て、いろいろな線を書く活動に取り組 もうとしている。 他の書写場面でも、筆の穂の柔らかさ や筆圧を意識して書こうとする意識を もっている。 A ：筆の穂の柔らかさや筆圧を意識し て、いろいろな線を書く活動に、積極 的に取り組もうとしている。 常に筆の穂の柔らかさや筆圧を意識し て書こうとする意識をもっている。 支援 ：筆の状態を確認し、運筆しやす い状態に整えるようにする。 書写の授業以外でも気をつけるように 呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5 月	2 ～ 3	2「横画」の筆使い『二』	○「横画」の筆使い（始筆・送筆・終筆）について理解することができる。 ○「横画」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○「横画」の書き方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アウ	B：「横画」の筆使いについて理解している。 「横画」の筆使いに気をつけて書いている。 A：「横画」の筆使いについてよく理解し、字形を把握している。 「横画」の筆使に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援：拡大文字などを使って、始筆・送筆・終筆の筆使いが視覚的に理解できるようにする。 始筆・送筆・終筆の動作を「とん」「すうっ」などの言葉で表し、教科書のイラストでイメージをもちながら理解できるようにする。	B：「横画」の筆使いについて考えている。 A：「横画」の筆使いの良しあしを考えている。 支援：朱墨や薄墨を使って、穂先の向きや通り道が確かめられるようにする。	B：「横画」の筆使いに気をつけて、正しく書こうとしている。 他の文字や硬筆でも「横画」に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A：「横画」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に「横画」に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援：拡大文字などを使って、「横画」の始筆・送筆・終筆に気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも、「横画」に気をつけて書くよう呼びかける。
6 月	2	3「たて画」の筆使い『土』	○「たて画」の筆使い（始筆・送筆・終筆）について理解することができる。 ○「たて画」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○「たて画」の書き方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アウ	B：「たて画」の筆使いについて理解している。 「たて画」の筆使いに気をつけて書いている。 A：「たて画」の筆使いについてよく理解し、字形を把握している。 「たて画」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援：拡大文字などを使って、始筆・送筆・終筆の筆使いが視覚的に理解できるようにする。 始筆・送筆・終筆の動作を「とん」「すうっ」などの言葉で表し、教科書のイラストでイメージをもちながら理解できるようにする。	B：「たて画」の筆使いについて考えている。 A：「たて画」の筆使いの良しあしを考えている。 支援：朱墨や薄墨を使って、穂先の向きや通り道が確かめられるようにする。	B：「たて画」の筆使いに気をつけて、正しく書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、「たて画」に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A：「たて画」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に「たて画」に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援：拡大文字などを使って、「たて画」の始筆・送筆・終筆に気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも、「たて画」に気をつけて書くよう呼びかける。
	適時	【知りたい 文字の世界】 筆について知ろう	○さまざまな筆があることを知り、興味・関心を高めることができる。	アウ			B：筆および筆で書くことに興味をもっている。 ふだんの授業においても、筆を大切に扱う意識をもっている。 A：筆および筆で書くことに興味をもち、積極的に調べようとしている。 ふだんの授業においても、筆を大切に扱う意識をもち、実践している。 支援：筆の作り方や材料に関するクイズを作成するなどして、興味・関心を高めるようにする。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6・7月	3	4「はらい」の筆使い『大』	○左右の「はらい」の筆使いの違いを理解することができる。 ○左右の「はらい」に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○「はらい」の書き方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アウ	B：左右の「はらい」の筆使いの違いについて理解している。 左右の「はらい」の筆使いに気をつけて書いている。 A：左右の「はらい」の筆使いの違いについてよく理解し、筆圧について把握している。 左右の「はらい」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援：力の入れ方（筆圧）について3段階で示して、理解できるようにする。 筆の入れ方を確かめるとともに、姿勢、執筆などの基礎・基本を確かめられるようにする。	B：左右の「はらい」の筆使いについて考えている。 A：左右の「はらい」の筆使いの良さしを考えている。 支援：朱墨や薄墨を使って、穂先の向きや通り道を確認められるようにする。	B：左右の「はらい」の筆使いに気をつけて、正しく書こうとしている。 A：左右の「はらい」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に左右の「はらい」の書き方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援：拡大文字などを使って、「はらい」の始筆・送筆・終筆に気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも、左右の「はらい」の書き方に気をつけて書くよう呼びかける。
		＜こう筆の学習＞ 「はらい」	○「はらい」の方向を理解することができる。 ○「はらい」の方向に気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	ア	B：左右の「はらい」の違いについて理解している。 左右の「はらい」の方向の違いに気をつけて書いている。 A：左右の「はらい」の違いや、さまざまな長さの「はらい」について、よく理解している。 左右の「はらい」の方向の違いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援：拡大文字や分解文字などを使って、「はらい」の方向の違いが視覚的に理解できるようにする。 左右の「はらい」の違いを中心とした書きカードを添削する。	B：左右の「はらい」の方向の違いについて考えている。 A：左右の「はらい」の方向の違いや、さまざまな長さの「はらい」について、よく考えている。 支援：それぞれの「はらい」の方向がどのように違うのか、具体的な言葉で説明できるようにする。	B：左右の「はらい」の方向に気をつけて、正しく書こうとしている。 「はらい」を含む漢字や語句を書いている。 A：左右の「はらい」の方向や、さまざまな長さの「はらい」に気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 「はらい」を含むさまざまな漢字や語句を書いている。 支援：毛筆で学習した、左右の「はらい」の方向の違いについて再確認する。 学習した以外の文字でも、「はらい」の方向の違いに気をつけて書くよう呼びかける。
	1	【レッツ・トライ】 はがき一暑中みまい	○はがきの形式を理解し、文字の大きさや行の中心に気をつけて書くことができる。	アイ	B：文字の大きさや行の中心の揃え方について理解している。 はがきの形式に従って、文字の大きさに気をつけて書いている。 A：文字の大きさや行の中心の揃え方について、よく理解している。 はがきの形式に従って、文字の大きさや行の中心に気をつけて書いている。 支援：教科書の紙面を参照しながら、はがきの形式について確かめている。 それぞれの行に中心線を入れるなど、行が曲がらずに書くことができるようにする。	B：はがきの形式に従って丁寧に書く方法について考えている。 A：はがきの形式に従って、文字の大きさや行の中心を整えて書く方法について考えている。 支援：はがきの表書きについて、相手の名前を大きく書くのは、相手を敬う気持ちが表れていることを説明する。	B：はがきの形式を理解し、丁寧に書こうとしている。 A：はがきの形式を理解し、相手意識をもって丁寧に書こうとしている。 支援：実際のはがきの例を提示することで関心を高めるようにする。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9・10月	1	【レッツ・トライ】 ①原こう用紙ーセーフティ教室の作文 ②カードーてんらん会作品のカード	○原稿用紙の書き方（行頭のとり方や、ます目の中の書く位置）を理解することができる。 ○文字の大きさや配列に気をつけて書くことができる。 ○他教科の学習のなかで、文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意欲をもつことができる。	アイ	B ：原稿用紙の書き方と、展覧会作品のカードの書き方について理解している。 文字の大きさと、ます目の中の書く位置に気をつけて書いている。 A ：原稿用紙の書き方と、展覧会作品のカードの書き方について、よく理解している。 文字の大きさと、ます目の中の書く位置に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：教科書紙面で確認し、原稿用紙の書き方と展覧会作品のカードの書き方が理解できるようにする。 文字の外形を囲み、平仮名や片仮名が漢字より小さく書かれているか確かめられるようにする。	B ：原稿用紙の書き方と、展覧会作品のカードの書き方について考えている。 A ：原稿用紙の書き方と、展覧会作品のカードの書き方について、よく考えている。 支援 ：一ますを四つにくぎり、句読点や拗音・濁音の書く位置について確かめられるようにする。 読みやすい学習成果物の例はどのような点が工夫されているか、具体的なポイントを指摘する。	B ：原稿用紙の書き方に気をつけて書こうとしている。 展覧会作品のカードの書き方に興味をもっている。 他教科の学習においても、原稿用紙の書き方や文字の大きさに気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：原稿用紙の書き方に気をつけて、積極的に書こうとしている。 展覧会作品のカードの書き方に興味をもち、積極的に取り組んでいる。 支援 ：国語の学習などで原稿用紙に書いた文字を、教科書の書き方と比べてみるようにする。 読みやすい学習成果物の例を提示することで関心を高めるようにする。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		5「おれ」と「はね」の筆使い『力』	○「おれ」と「はね」の筆使いについて理解することができる。 ○「おれ」と「はね」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○「おれ」と「はね」の書き方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アウ	Ｂ ：「おれ」と「はね」の筆使いを理解している。 「おれ」と「はね」の筆使いに気をつけて書いている。 Ａ ：「おれ」と「はね」の筆使いについてよく理解し、筆圧について把握している。 「おれ」と「はね」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：拡大文字などを使って、始筆・送筆・終筆の筆使いが視覚的に理解できるようにする。 穂先の通り道を確かめるとともに、姿勢、執筆などの基礎・基本を確かめられるようにする。	Ｂ ：「おれ」と「はね」の筆使いについて考えている。 Ａ ：「おれ」と「はね」の筆使いの良しあしを考えている。 支援 ：朱墨や薄墨を使って、穂先の向きや通り道を確かめられるようにする。	Ｂ ：「おれ」と「はね」の筆使いに気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、「おれ」と「はね」の筆使いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 Ａ ：「おれ」と「はね」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に「おれ」と「はね」に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：拡大文字などを使って、「おれ」と「はね」の始筆・送筆・終筆に気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも、「おれ」と「はね」の筆使いに気をつけて書くよう呼びかける。
	3～4	＜こう筆の学習＞ 「おれ」と「はね」	○「おれ」と「はね」の方向を理解することができる。 ○「おれ」と「はね」の方向に気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	ア	Ｂ ：「おれ」と「はね」の筆使いについて理解している。 「おれ」と「はね」の方向に気をつけて書いている。 Ａ ：「おれ」と「はね」の筆使いについてよく理解し、筆圧について把握している。 「おれ」の方向の違いに気をつけて、字形を整えて書いている。 「はね」の方向の違いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：拡大文字などを使って、始筆・送筆・終筆の筆使いが視覚的に理解できるようにする。 「おれ」「はね」の方向を中心とした書写カードを添削する。	Ｂ ：「おれ」と「はね」の方向について考えている。 Ａ ：「おれ」の方向の違いについて考えている。 「はね」の方向の違いについて考えている。 支援 ：「おれ」の方向がどのように違うのか、具体的な言葉で説明できるようにする。 「はね」の方向がどのように違うのか、具体的な言葉で説明できるようにする。	Ｂ ：「おれ」と「はね」の方向に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも「おれ」と「はね」の方向に気をつけて書こうとする意識をもっている。 Ａ ：「おれ」の方向の違いに気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 「はね」の方向の違いに気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に「おれ」と「はね」の方向に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：毛筆で学習した、「おれ」と「はね」の方向について再確認する。 学習した以外の文字でも、「おれ」と「はね」の方向に気をつけて書くよう呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10月		6 ひらがなの筆使い 『つり』	○平仮名の筆使いを理解することができる。 ○平仮名の筆使いに気をつけて書くことができる。 ○平仮名の書き方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アウ	B ：平仮名の筆使いについて理解している。 平仮名の筆使いに気をつけて書いている。 A ：平仮名の筆使いについてよく理解し、筆使いについて把握している。 丸みのある柔らかい筆使いで書いている。 支援 ：漢字の筆使いと比較することによって、平仮名の筆使いを理解できるようにする。 ゆっくりと書くことで、丸みができることを確かめられるようにする。	B ：平仮名の筆使いについて考えている。 A ：平仮名の筆使いの良しあしを考えている。 支援 ：朱墨や薄墨を使って、穂先の向きや通り道を確認められるようにする。	B ：平仮名の筆使いに関心をもっている。 他の文字や硬筆でも、平仮名の書き方に気をつけて正しく書こうとする意識をもっている。 A ：平仮名の筆使いに関心をもち、積極的に書こうとしている。 常に平仮名の書き方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：拡大文字などを使って、平仮名の始筆・送筆・終筆に気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも、平仮名の書き方に気をつけて書くよう呼びかける。
	3～4	＜こう筆の学習＞ 筆順と字形	○筆順のきまりを理解し、字形を整えて書くことができる。 ○筆順のきまりを、他の文字でもあてはめて書くことができる。	ア	B ：筆順の原則を理解している。 筆順の原則に従って、正しく書いている。 A ：文字の筆順の原則について、よく理解している。 筆順の原則に従って、字形を整えて書いている。 支援 ：教科書の脚注や巻末漢字表などを使って、正しい筆順について理解を促す。 今まで学習した筆順の原則を確かめられるようにする。	B ：筆順の原則について、他の文字にもあてはめて考えている。 A ：筆順の原則や字形について、他の文字にもあてはめて、よく考えている。 支援 ：教材文字のどの部分が筆順の原則にあたるのか説明することで、他の文字でも確かめられるようにする。	B ：筆順の原則に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも、筆順の原則に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：筆順の原則に気をつけて、積極的に書こうとしている。 常に筆順の原則に気をつけて、字形を整えて書こうとする意識をもっている。 支援 ：筆順を色分けした図版などを使って、筆順に原則があることに気づくようにはたらきかける。 学習した以外の文字でも、筆順に従って書くように意識づける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11月	1	【レッツ・トライ】 ①文化 ― 俳句	○漢字と平仮名の大きさや、行の中心のそろえ方について理解することができる。 ○漢字と平仮名の大きさや行の中心に気をつけて、配列を整えて書くことができる。	アイ	B ：漢字と仮名の大きさや行の中心のそろえ方について理解している。 漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて書いている。 A ：漢字と仮名の大きさや行の中心のそろえ方について、よく理解している。 漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて、配列を整えて書いている。 支援 ：文字の外形を囲むことで、文字の大きさが視覚的に確かめられるようにする。 支援：中心線などの補助線を引いて、配列を確かめられるようにする。	B ：漢字と仮名の大きさや行の中心のそろえ方について考えている。 A ：漢字と仮名の大きさや行の中心のそろえ方について、よく考えている。 支援 ：試書と教材文字とを比較して、自分の課題がわかるようにする。	B ：漢字と仮名の大きさや行の中心のそろえ方に気をつけて書こうとしている。 書写の授業以外でも、漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：漢字と仮名の大きさに気をつけて、配列を整えて書こうとしている。 常に漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：漢字と仮名の大きさや行の中心に着目するよう呼びかける。 書写の授業以外でも、漢字や仮名の大きさや行の中心に気をつけて書くよう呼びかける。
	1	【レッツ・トライ】 ②手紙―お店見学の お 礼じょう	○手紙の形式を理解し、文字の大きさや行の中心に気をつけて書くことができる。	アイ	B ：文字の大きさや行の中心の揃え方について理解している。 手紙の形式に従って、文字の大きさに気をつけて書いている。 A ：文字の大きさや行の中心の揃え方について、よく理解している。 手紙の形式に従って、文字の大きさと行の中心に気をつけて書いている。 支援 ：教科書の紙面を参照しながら、手紙の書式について確かめている。 便箋の罫線に対して文字が大きすぎたり小さすぎたりしのように、教科書を見ながら確かめられるようにする。	B ：手紙の形式に従って丁寧に書く方法について考えている。 A ：手紙の書式に従って、文字の大きさや行の中心を整えて書く方法について考えている。 支援 ：相手の名前を上の方に書くことや、封筒の中央に大きく書くのは、相手を敬う気持ちが表れていることを説明する。	B ：手紙の形式を理解し、丁寧に書こうとしている。 A ：手紙の形式を理解し、相手意識をもって丁寧に書こうとしている。 支援 ：実際の手紙の例を提示することで関心を高めるようにする。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11・ 12月	3～4	7 「曲がり」と「おれ」の筆使い 『ビル』	○「曲がり」と「おれ」の筆使いの違いを理解することができる。 ○「曲がり」と「おれ」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○「曲がり」と「おれ」の違いに気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アウ	Ｂ ：「曲がり」と「おれ」の筆使いについて理解している。 「曲がり」と「おれ」の筆使いに気をつけて書いている。 Ａ ：「曲がり」と「おれ」の筆使いについてよく理解し、字形を把握している。 「曲がり」と「おれ」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：分解文字などを使って、「曲がり」と「おれ」の字形の違いが視覚的に理解できるようにする。 「曲がり」では筆の軸を回さないように、「おれ」では一度筆を止めるように呼びかける。	Ｂ ：「曲がり」と「おれ」の筆使いについて考えている。 Ａ ：「曲がり」と「おれ」の筆使いの違いについて、よく考えている。 支援 ：朱墨や薄墨を使って、穂先の向きや通り道を確認められるようにする。	Ｂ ：「曲がり」と「おれ」の筆使いに気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、「曲がり」と「おれ」の書き方に気をつけて正しく書こうとする意識をもっている。 Ａ ：「曲がり」と「おれ」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に「曲がり」と「おれ」に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：拡大文字などを使って、「曲がり」と「おれ」の始筆・送筆・終筆に気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも、「曲がり」と「おれ」の書き方に気をつけて書くよう呼びかける。
		<こう筆の学習> 「曲がり」と「おれ」	○「曲がり」と「おれ」の違いを理解することができる。 ○「曲がり」と「おれ」の違いに気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	ア	Ｂ ：「曲がり」と「おれ」の違いについて理解している。 「曲がり」と「おれ」の違いに気をつけて書いている。 Ａ ：「曲がり」と「おれ」の筆使いについてよく理解し、字形を把握している。 「曲がり」と「おれ」の違いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：「曲がり」や「おれ」がある文字をいくつか提示することによって、理解できるようにする。	Ｂ ：「曲がり」と「おれ」の違いについて考えている。 Ａ ：「曲がり」と「おれ」の違いについて、よく考えている。 支援 ：「曲がり」と「おれ」を書く際の留意点について、具体的な言葉で説明できるようにする。	Ｂ ：「曲がり」と「おれ」の違いに気をつけて書こうとしている。 他の文字でも「曲がり」と「おれ」に気をつけて正しく書こうとする意識をもっている。 Ａ ：「曲がり」と「おれ」の違いに気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に「曲がり」と「おれ」に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：毛筆で学習した、「曲がり」と「おれ」の違いについて再確認する。 学習した以外の文字でも、「曲がり」と「おれ」に気をつけて書くよう呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		くこう筆の学習> 文字の組み立て方	○いろいろな文字の組み立て方について理解することができる。 ○文字の組み立て方に気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	ア	Ｂ ：左右の幅の違い，上下の高さの違い，中と外の組み立て方について理解している。 左右・上下・中と外の組み立て方に気をつけて書いている。 Ａ ：左右の幅の違い，上下の高さの違い，中と外の組み立て方についてよく理解し，字形を把握している。 左右・上下・中と外の組み立て方に気をつけて，字形を整えて書いている。 支援 ：拡大文字や分解文字などを使って，組み立て方が視覚的に理解できるようにする。 左右の幅や上下の高さ，中と外の部分について意識できるようにする。	Ｂ ：左右の幅，上下の高さ，中と外の組み立て方について考えている。 Ａ ：左右・上下・中と外の組み立て方の良しあしを考えている。 支援 ：毛筆文字などを使って，組み立て方や幅が確かめられるようにする。	Ｂ ：いろいろな文字の組み立て方に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも左右・上下・中と外の組み立て方に気をつけて正しく書こうとする意識をもっている。 Ａ ：いろいろな文字の組み立て方に気をつけて，字形を整えて書こうとしている。 常に左右・上下・中と外の組み立て方に気をつけて書こうとする意欲をもっている。 支援 ：幅や高さの違いに気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも，組み立て方に気をつけて書くよう呼びかける。
12・ 1 月	4～5	書きぞめ 『お正月』 『友だち』 小筆で書こう	○床の上や立って書くときの姿勢，筆の持ち方に気をつけて，これまでの学習を生かして書くことを理解することができる。 ○筆使いや文字の中心に気をつけて，字形を整えて書くことができる。	アウ	Ｂ ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方，筆使いについて理解している。 これまで学習した筆使いや文字の中心に気をつけて書いている。 Ａ ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方，筆使いについて，よく理解している。 これまで学習した筆使いや文字の中心に気をつけて，字形を整えて書いている。 支援 ：今まで学習した筆使いについて，点画の名称を確認しながら理解できるようにする。 書きぞめ用紙を縦半分に折り，中心を意識できるようにする。 外形を考えることで，文字の大きさについて確かめられるようにする。	Ｂ ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方について考えている。 Ａ ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方の良しあしを考えている。 支援 ：姿勢図や筆の持ち方の図版などを使って，確かめられるようにする。	Ｂ ：書きぞめに関心をもち，書こうとしている。 他の学習場面でも，よい姿勢や持ち方で，字形を整えて書こうとする意識をもっている。 Ａ ：書きぞめに関心をもち，積極的に書こうとしている。 支援 ：書きぞめの由来を説明し，書きぞめについて関心が高まるようにする。 他の学習場面でも，姿勢や持ち方，字形に気をつけて書くよう呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2・3月		点画のしゅるい	○3年生で学習した基本点画について確かめることができる。	アウ	B：これまでに学習した「点画の種類」について理解している。 A：これまでに学習した「点画の種類」について、よく理解している。 支援：教科書紙面を参照しながら、「点画の種類」と筆圧のかけ方について理解を促す。		B：3年生で学習した基本点画について確かめている。他の文字でも、基本点画に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A：3年生で学習した基本点画について、積極的に確かめている。常に基本点画に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援：これまで学習したページを振り返るように促す。学習した以外の文字でも、基本点画に気をつけて書くよう呼びかける。
	4	8 学習のまとめ『光』	○これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで、意欲をもって書くことができる。 ○自分の選んだめあてに気をつけて書くことができる。 ○これまで学習したことを生かして、硬筆で書いて確かめることができる。	アイウ	B：これまで学習した筆使いや字形について理解している。これまで学習したことを生かして、筆使いや字形に気をつけて書いている。 A：これまで学習した筆使いや字形について、よく理解している。これまで学習したことを生かして、筆使いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援：1年間の学習内容や成果が確かめられるようにする。学習事項の要点や筆使いなどを具体的に示すようにする。	B：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んでいる。 A：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを適切に選んでいる。 支援：『光』を試書することで、自分のめあてが見つけられるように支援する。	B：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで書こうとしている。硬筆の学習でも、字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選び、進んで書こうとしている。常に字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援：1年間の学習事項や筆使いなどが確かめられるようにする。書写の授業以外でも、字形に気をつけて書くよう呼びかける。
		【知りたい 文字の世界】 「手書き文字」と「活字」	○手書き文字と活字の違いに気づき、文字に対する興味・関心を高めることができる。 ○日常生活のなかで見られる活字と手書き文字について、話し合うことができる。	アイ	B：手書き文字と活字の特徴がわかる。 A：手書き文字と活字の特徴について、よく理解している。 支援：教科書紙面を使いながら説明をすることで理解を促す。	B：手書き文字と活字の違いについて話し合い、考えている。 A：手書き文字と活字の違いについて話し合い、よく考えている。 支援：教科書の例、または用意しておいた拡大文字例等を使い、手書き文字と活字の違いに気づくようにする。	B：手書き文字と活字の違いに気づき、文字に関する関心を高めている。手書き文字と活字の特徴について、意欲的に調べようという意識をもっている。 A：手書き文字と活字の違いに気づき、積極的に調べようとしている。手書き文字と活字の特徴について意識し、使い分けようという意識をもっている。 支援：文字に関するクイズを作成するなどして、興味・関心を高めるようにする。身のまわりにある手書き文字と活字の例を提示して、目的に応じた使い方に気づくようはたらきかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評価基準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	適時	【知っておこう】 ローマ字表	○ローマ字の書き方を知り，興味・関心をもつことができる。	アイ	B：ローマ字の字形について理解している。 A：ローマ字の字形について，よく理解している。 支援：字形がわかりにくい文字について，教科書を見ながら確認できるようにする。		B：ローマ字の字形を確かめている。常にローマ字の字形を確かめようとする意識をもっている。 A：ローマ字の字形を，積極的に確かめている。常にローマ字の字形を確かめて，丁寧に書こうとする意識をもっている。 支援：まちがえやすい字形について，重点的に確かめられるように呼びかける。普段の学習で，常に気をつけるよう意識づける。
		【書いて つたえ合おう】 メモを取ってまとめよう	○書写で学習した内容を，他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。	アイ	B：メモの書き方を理解している。大事なことを聞きのがさないようにメモを取っている。読みやすく書くための方法について理解している。メモをもとに伝えたいことをまとめている。 A：メモの書き方を，よく理解している。大事なことをおさえてメモを取っている。読みやすく書くための方法について，よく理解している。 支援：教科書を見ながら，効率的にメモを取るにはどこを省略できるか確かめる。配列は整っているか，筆記用具は効果的に使われているかなど，具体的な投げかけをする。	B：大事なことをおさえてメモを取る工夫について考えている。読みやすく書くための方法を意識して，まとめたものを見直している。 A：大事なことをおさえてメモを取る工夫について，よく考えている。読みやすく書くための方法を意識して，まとめたものを見直したり工夫したりしている。 支援：自分のメモに書き込みをして，課題を見つけるようにする。読みやすく書くための基準について確かめられるようにする。	B：書写で学習した内容を，他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもっている。 A：書写で学習した内容を，他教科での学習や日常生活にも積極的に生かしていく意欲をもっている。 支援：ふだんの生活のなかでメモを取る場面について問いかける。読みやすい学習成果物の例などを具体的に例示する。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		【漢字表】 三年生で学習する漢字 二年生で学習した漢字	○2年生で学習した字形の 整え方，筆順などを確かめ ることができる。 ○3年生で学習した字形の 整え方，筆順などを確かめ ることができる。 ○巻末漢字表を活用した漢 字の仲間分けの活動を行っ たり，筆順をまちがえやす い漢字について確かめたり することができる。	アイ	B ：同じ点画をもつ漢字，同じ組み立 て方をもつ漢字など，漢字の仲間分け について理解している。 同じ点画をもつ漢字，同じ組み立て方 をもつ漢字など，漢字の仲間分けをし ている。 A ：同じ点画をもつ漢字，同じ組み立 て方をもつ漢字など，漢字の仲間分け について，よく理解している。 同じ点画をもつ漢字，同じ組み立て方 をもつ漢字など，漢字を正しく仲間分 けしている。 支援 ：これまで学習した基本，点画な どの内容を振り返り，確かめられるよ うにする。 どの文字のどの部分に着目して探す か，具体的に説明する。	B ：これまで学習した字形の整え方， 筆順について考えている。 同じ点画をもつ漢字，同じ組み立て方 をもつ漢字など，漢字の仲間分けにつ いて考えている。 A ：これまで学習した字形の整え方， 筆順について，よく考えている。 同じ点画をもつ漢字，同じ組み立て方 をもつ漢字など，漢字の仲間分けにつ いて判断している。 支援 ：教科書紙面を使って，正しい筆 順や字形の整え方などが確かめられる ようにする。 どの文字のどの部分に着目して探す か，具体的に説明する。	B ：巻末漢字表を使った漢字の仲間分 けの活動や，漢字の成り立ちについ て，関心を高めている。 他の学習場面でも，筆順や字形に気を つけて書こうとする意識をもっている。 A ：巻末漢字表を使った漢字の仲間分 けの活動や，漢字の成り立ちについて 関心を高め，積極的に取り組もうとし ている。 常に筆順や字形に気をつけて書こうと する意識をもっている。 支援 ：巻末漢字表の使い方について確 かめられるようにする。 書写の授業以外でも，気をつけるよう 意識づける。
		【ひらがな表】 【かたかな表】 【やってみよう】	○平仮名，片仮名の筆順や 字形を確かめることができ る。	アイ	B ：平仮名，片仮名の筆順や字形につ いて理解している。 A ：平仮名，片仮名の筆順や字形につ いて，よく理解している。 支援 ：ふだん，字形を整えにくい文字 に関して，教科書を見ながら確認でき るようにする。		B ：平仮名，片仮名の筆順や字形を確 かめている。 常に平仮名，片仮名の筆順や字形を確 かめようとする意識をもっている。 A ：平仮名，片仮名の筆順や字形を， 積極的に確かめている。 常に平仮名，片仮名の筆順や字形を確 かめて，丁寧に書こうとする意識を もっている。 支援 ：まちがえやすい筆順について， 重点的に確かめられるように呼びかけ る。 書写の授業以外でも，常に気をつける よう意識づける。

令和5年度 書写 評価規準（4年生）

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	2	世界の「こんにちは」	○世界にはさまざまな文字があることを知り、文字に対する興味・関心を高めることができる。 ○日本の文字の特徴について、興味・関心を高めることができる。	アイウ	B ：世界にはさまざまな文字があることについて知っている。 日本の文字の特徴について知っている。 A ：世界にはさまざまな文字があることを理解している。 日本の文字について理解している。 支援 ：教科書紙面を使いながら説明をすることで理解を促す。	B ：日常生活の中で見られる世界や日本の文字の印象について話し合い、考えている。 A ：日常生活の中で見られる世界や日本の文字の印象について進んで話し合い、よく考えている。 支援 ：文字に関する発問を用意しておくなど、話し合いの観点を示すようにする。	B ：世界や日本の文字について、理解していこうとする意識をもっている。 A ：世界や日本の文字について、積極的に調べていこうとしている。 支援 ：教科書の例、または用意しておいた世界の文字や日本の文字などを提示し、関心を高めるようにする。
		四年生で学習すること 目次 学習の進め方	○1年間の学習内容や学習の進め方について確認し、書写学習に対する意欲をもつことができる。	アイウ	B ：1年間のめあてや学習内容について知っている。 A ：1年間のめあてや学習内容について理解している。 支援 ：前学年で学習した内容をふまえながら説明する。		B ：1年間の学習内容を知り、書写学習に対する意欲をもっている。 A ：1年間の学習内容を知り、積極的に書写学習に取り組む意欲をもっている。 支援 ：教科書紙面を参照しながら、1年間の学習内容と、学習したことを書写以外の学習にも生かしていくことについて説明する。
		1 はじめの学習 1 毛筆用具の名前と置き方やあつかい方 2 よいしせいと筆の持ち方 3 3年生で学習したこと ■点画の種類 4 あとかたづけ	○用具の並べ方や扱い方について確かめることができる。 ○よい姿勢や筆の持ち方について確かめることができる。 ○常により姿勢やよい持ち方を意識して書くことができる。 ○3年生で学習したことを確かめることができる。	アイウ	B ：用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を理解している。 用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方が身についている。 3年生で学習した「筆圧」や「点画の種類」について理解している。 A ：用具の扱い方や、よい姿勢、筆の持ち方で書くことを、よく理解している。 用具の扱い方や、姿勢、筆の持ち方が、よく身についている。 3年生で学習した「筆圧」や「点画の種類」について、よく理解している。 支援 ：よい姿勢やよい筆の持ち方で書くことの大切さについて理解を促す。 用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方のポイントを具体的に説明する。 教科書紙面を参照しながら、「点画の種類」と筆圧のかけ方について理解を促す。	B ：用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方の良しあしを考えている。 筆の穂の柔らかさや筆圧について考えている。 A ：用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方の良しあしを判断できる。 筆の穂の柔らかさや筆圧について、よく考えている。 支援 ：どこを正すと姿勢、筆の持ち方がよくなるかを、基準に照らして説明する。 筆の状態を確認し、運筆がしやすい状態に整えるようにする。 教科書紙面を参照しながら、筆圧を三段階でとらえて、力の入れ方と太さを確かめられるようにする。	B ：用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を確かめようとしている。 他の書写場面でも、よい姿勢やよい持ち方で、筆の穂の柔らかさや筆圧、「点画の種類」を意識して書こうとする意識をもっている。 A ：用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を積極的に確かめようとしている。 常により姿勢やよい持ち方で、筆の穂の柔らかさや筆圧、「点画の種類」を意識して書こうとする意識をもっている。 支援 ：用具の配置図や姿勢図、持ち方の写真と比べて、自分でチェックできるようにする。 書写以外の学習でも気をつけるように呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5 月	2 ～ 3	2 点画の筆使い 『花』	○点画の筆使いを確かめることができる。 ○点画の筆使いに気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○点画の書き方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アウ	Ｂ ：点画の筆使いについて理解している。 点画の筆使いに気をつけて書いている。 Ａ ：点画の筆使いについてよく理解し、字形を把握している。 点画の筆使いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：他の文字の例を見ることによって、点画の筆使いを確かめられるようにする。 それぞれの課題解決ができるような練習用紙を使って、書きにくい部分が解決できるようはたらきかける。	Ｂ ：点画の筆使いについて考えている。 Ａ ：点画の筆使いの良しあしを考えている。 支援 ：穂先の向きと穂先の通り道はどうなっているか説明できるようにする。空書することで、それぞれの筆使いを確かめるようにする。	Ｂ ：点画の筆使いに気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、点画の筆使いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 Ａ ：点画の筆使いに気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に点画の筆使いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：水書板などを使って、「はらい」「曲がり」などの筆使いを確かめられるようにする。
6 月	1	【レッツ・トライ】 発表しりょう—学習内よ うを まとめる	○横書きの書き方（行頭の そろえ方，字間，行間）を 理解して，文字の大きさや 配列に気をつけて書くこと ができる。 ○他教科の学習のなかで， 文字の大きさや配列に気をつ けて書こうとする意欲をも つことができる。	アイ	Ｂ ：横書きの書き方と配列について理解している。 横書きの書き方を理解して，配列に気をつけて書いている。 Ａ ：横書きの書き方をよく理解して，配列の整え方について把握している。 横書きの書き方を理解して，配列よく書いている。 支援 ：簡条書きを書く際の行頭のあけ方や字間など，具体的な視点をあげて呼びかける。 補助線を引いて，配列を確かめられるようにする。	Ｂ ：読み手に内容がよく伝わる発表資料の作成方法について話し合っている。 Ａ ：読み手に内容がよく伝わる発表資料の作成方法について，積極的に話し合っている。 支援 ：どのように書いたら相手に伝わりやすいか，具体的な場面について投げかけるようにする。	Ｂ ：書写以外の学習でも，相手意識をもって配列に気をつけて書こうとしている。 Ａ ：書写以外の学習でも，相手意識をもって配列に気をつけて積極的に書こうとしている。 支援 ：書写で学習した内容を，他教科で生かしていく学習であることを伝える。 書写以外の学習でも，相手意識をもって配列に気をつけて書くよう呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6・7月	3～4	3 筆順と字形 『左右』	○筆順と字形の関係を理解することができる。 ○筆順に気を付けて、字形を整えて書くことができる。 ○筆順と字形を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アウ	B ：筆順と字形との関係について理解している。 筆順と字形に気を付けて書いている。 A ：筆順と字形との関係についてよく理解し、字形の整え方を把握している。 正しい筆順で、字形を整えて書いている。 支援 ：他の文字の例を見ることによって、筆順と字形の関係を確かめられるようにする。 画の長さや外形について、具体的に説明できるようにする。	B ：筆順と字形との関係について考えている。 A ：筆順と字形との関係について、よく考えている。 支援 ：分解文字などを使って、筆順と字形が確かめられるようにする。	B ：筆順と字形に気を付けて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、筆順と字形に気を付けて書こうとする意識をもっている。 A ：筆順と字形に気を付けて、字形を整えて書こうとしている。 常に筆順と字形に気を付けて書こうとする意識をもっている。 支援 ：字源を説明することで、筆順と字形に対する関心を高められるようにする。 学習した以外の文字や硬筆でも、筆順と字形に気を付けて書くよう呼びかける。
		〈こう筆の学習〉 筆順と字形	○筆順の原則を理解することができる。 ○筆順に気を付けて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	ア	B ：筆順の原則について理解している。 筆順と字形に気を付けて書いている。 A ：筆順の原則についてよく理解し、字形の整え方を把握している。 正しい筆順で、字形を整えて書いている。 支援 ：いろいろな文字の例にあてはめて考えることによって、筆順と字形の関係を確かめられるようにする。 字形が整っていない文字について、筆順を確かめられるようにする。	B ：筆順の原則について考えている。 A ：筆順の原則についてよく考えている。 なぜ筆順どおりに書くことが大切なのか、考えている。 支援 ：教科書の図版などを使って、筆順の原則が確かめられるようにする。	B ：筆順と字形に気を付けて、硬筆で書こうとしている。 他の書写場面でも、筆順の原則に従って、字形を整えて書こうとする意識をもっている。 A ：筆順と字形に気を付けて、字形を整えて硬筆で書こうとしている。 常に筆順の原則に従って、字形を整えて書こうとする意識をもっている。 支援 ：文字の中のどの部分に筆順の原則が使われているか説明することで、筆順に対する関心を高める。 書写の授業以外でも、筆順と字形に気を付けて書くよう呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	2	4 ひらがなの筆使い 『はす』	○「結び」の筆使いを理解することができる。 ○「結び」の筆使いや形の違いに気をつけて書くことができる。 ○「結び」の形の違いを確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アウ	B ：「結び」の筆使いについて理解している。 「結び」の筆使いに気をつけて書いている。 A ：横の「結び」と縦の「結び」の筆使いの違いや字形について、よく理解している。 「結び」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：拡大文字などを使って、筆使いや形が視覚的に確かめられるようにする。 教科書の図版を参照しながら縦の結びと横の結びの違いについて説明し、理解できるようにする。	B ：「結び」の筆使いについて考えている。 A ：「結び」の筆使いの良しあしを考えている。 支援 ：朱墨や薄墨を使って、穂先の向きや通り道が確かめられるようにする。	B ：「結び」の筆使いに気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、「結び」の字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：「結び」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に縦・横の「結び」の字形の違いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：拡大文字などを使って、「結び」の筆使いや形に気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも、「結び」の形の違いに気をつけて書くよう呼びかける。
	1	【レッツ・トライ】 ノートー理科のノート	○学習内容が理解しやすいノートのまとめ方を理解することができる。 ○書写で学習した内容を、他教科での学習に生かしていく意識をもち、工夫して書こうとすることができる。	アイ	B ：学習内容が理解しやすいノートのまとめ方についてわかっている。 学習内容が理解しやすいように工夫してノートをまとめている。 A ：学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について、よく理解している。 学習内容が理解しやすいように、よく工夫してノートをまとめている。 支援 ：簡条書きで書く際の行頭のあけ方や余白のとり方など、具体的な視点をあげて呼びかける。 自分の普段のノートを見直してみて、わかりにいい点はないか確かめるようにする。	B ：学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について考えている。 A ：学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について、よく考えている。 支援 ：どのように書いたら内容が理解しやすいか、具体的な書き方について例示するようにする。	B ：書写で学習した内容を、他教科での学習に生かしていく意欲をもっている。 書写以外の学習場面でも、わかりやすい書き表し方を工夫して書こうとしている。 A ：書写で学習した内容を、他教科での学習に生かし、積極的に書こうとする意欲をもっている。 常にわかりやすい書き表し方を工夫して書こうとしている。 支援 ：書写で学習した内容を、他教科で生かしていく学習であることを伝える。 書写以外の学習でも、わかりやすい書き表し方を工夫して書くよう呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9月	1	【レッツ・トライ】 はがき―けい老の日はがき	○はがきの形式を理解し、 相手意識をもって丁寧に書くことができる。 ○文字の大きさや行の中心に 気をつけて書くことができる。	アイ	B ：文字の大きさや行の中心の揃え方について理解している。 はがきの形式に従って、文字の大きさに気をつけて書いている。 A ：文字の大きさや行の中心の揃え方について、よく理解している。 はがきの形式に従って、文字の大きさと行の中心に気をつけて書いている。 支援 ：教科書の紙面を参照しながら、はがきの書式について確かめられるようにする。 はがきに対して文字が大きすぎたり小さすぎたりしのように、教科書を見ながら確かめられるようにする。	B ：はがきの形式に従って丁寧に書く方法について考えている。 A ：はがきの書式に従って、文字の大きさや行の中心を整えて書く方法について考えている。 支援 ：相手の名前を上の方に書くことや、はがきの中央に大きく書くのは、相手を敬う気持ちが表れていることを説明する。	B ：はがきの形式を理解し、丁寧に書こうとしている。 A ：はがきの形式を理解し、相手意識をもって丁寧に書こうとしている。 支援 ：実際のはがきの例を提示することで関心を高めるようにする。
	2	5 文字の組み立て方 (左右) 『林』	○「へん」と「つくり」の幅の 違いと点画の形の変化を理解する ことができる。 ○「へん」と「つくり」の組み立て 方に気をつけて、字形を整えて書 くことができる。 ○「へん」の幅と点画の形を確かめ て、硬筆で字形を整えて書くこと ができる。	アウ	B ：「へん」と「つくり」の幅の違 いと点画の形の変化について理解 している。 「へん」と「つくり」の組み立て 方に気をつけて書いている。 A ：「へん」と「つくり」の幅の違 いと点画の形の変化についてよく理 解し、字形を把握している。 「へん」と「つくり」の組み立て 方に気をつけて、字形を整えて書 いている。 支援 ：他の文字の例を見ることによ って、点画のゆずり合いを比べてみ ることができるようにする。 点画のゆずり合いが確認できるよ うにする。	B ：「へん」と「つくり」の組み立 て方について考えている。 A ：「へん」と「つくり」の組み立 て方の良しあしを考えている。 支援 ：拡大文字などを使って、文字 の組み立て方が確かめられるよう にする。	B ：「へん」と「つくり」の組み立 て方に気をつけて書こうとしてい る。 他の文字や硬筆でも、文字の組み 立て方に気をつけて書こうとする 意識をもっている。 A ：「へん」と「つくり」の組み立 て方に気をつけて、字形を整えて書 こうとしている。 常に文字の組み立て方に気をつけて 書こうとする意識をもっている。 支援 ：「へん」と「つくり」の組み 立て方に気をつけるよう呼びかけ る。 学習した以外の文字でも、文字の 組み立て方に気をつけて書くよう 呼びかける。
10月	2	6 文字の組み立て方 (上下) 『笛』	○上の部分の高さと形の 変化を理解することができる。 ○上下の組み立て方に気 をつけて、字形を整えて書 くことができる。 ○上下の組み立て方を確か めて、硬筆で字形を整えて 書くことができる。	アウ	B ：上の部分と下の部分の高さの違 いと点画の形の変化について理解 している。 上下の組み立て方に気をつけて書 いている。 A ：上の部分と下の部分の高さの違 いと点画の形の変化についてよく理 解し、字形を把握している。 上下の組み立て方に気をつけて、 字形を整えて書いている。 支援 ：他の文字の例を見ることによ って、点画のゆずり合いを比べてみ ることができるようにする。	B ：上下の組み立て方について考 えている。 A ：上下の組み立て方の良しあし を考えている。 支援 ：拡大文字などを使って、文字 の組み立て方が確かめられるよう にする。	B ：「へん」と「つくり」の組み立 て方に気をつけて書こうとしてい る。 他の文字や硬筆でも、文字の組み 立て方に気をつけて書こうとする 意識をもっている。 A ：「へん」と「つくり」の組み立 て方に気をつけて、字形を整えて書 こうとしている。 常に文字の組み立て方に気をつけて 書こうとする意識をもっている。 支援 ：学習した以外の文字でも、 文字の組み立て方に気をつけて書 くよう呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10・ 11月	5～6	7 文字の組み立て方 (選たく) ①左右の組み立て方 『土地』 ②上下の組み立て方 『岩山』	○自分のめあてを設定し、 めあてに合わせた教材を選 択し、めあてに気をつけて 書くことができる。 ○左右・上下の組み立て方 (幅や高さのとり方)を理 解して、字形を整えて書 くことができる。 ○左右・上下の組み立て方 を確かめて、硬筆で字形を 整えて書くことができる。 る。	アウ	B ：左右・上下の組み立て方(幅や高 さのとり方)を理解している。 左右・上下の組み立て方に気をつけて 書いている。 A ：左右・上下の組み立て方(幅や高 さのとり方)を理解し、字形を把握し ている。 左右・上下の組み立て方に気をつけ て、字形を整えて書いている。 支援 ：点画のゆずり合いや、自分の課 題が視覚的に確かめられるようにす る。 点画のゆずり合いが確認できるように する。	B ：自分のめあてに適した教材を選択 している。 幅や高さ、形がどう変わっているか、 考えている。 A ：自分のめあてに適した教材を、適 切に選択している。 幅や高さ、形がどう変わっているか、 よく考えている。 支援 ：それぞれの教材文字は、幅や高 さ、形がどう変わるのか、同じ課題の 友達と考えることができるようにす る。	B ：自分のめあてを設定し、めあてに 合わせた教材を選択しようとしてい る。 他の文字や硬筆でも、自分の課題をも ち、組み立て方に気をつけて書こうと している。 A ：自分のめあてを設定し、めあてに 合わせた教材を選択し、めあてに気 をつけて書こうとしている。 常に自分の課題をもち、組み立て方に 気をつけて書こうとしている。 支援 ：自分の課題はどのようなところ にあるか、前時を振り返り確かめられ るようにする。 学習した以外の文字でも、組み立て方 に気をつけて、主体的に書くよう呼び かける。
		〈こう筆の学習〉 文字の組み立て方	○左右・上下の組み立て方 と点画の変化について理解 することができる。 ○左右・上下の組み立て方 と点画の変化に気をつけ て、硬筆で字形を整えて書 くことができる。 ○左右・上下の組み立て方 で構成される漢字の、点画 の変化を見つける活動につ いて、意欲的に取り組むこ とができる。	ア	B ：左右の幅の違い、上下の高さの違 いと点画の変化について理解してい る。 左右・上下の組み立て方と点画の変化 に気をつけて書いている。 A ：左右・上下の組み立て方と点画の 変化についてよく理解し、字形を把握 している。 左右・上下の組み立て方と点画の変化 に気をつけて、字形を整えて書してい る。 支援 ：拡大文字や分解文字などを使っ て、組み立て方と点画の変化が視覚的 に理解できるようにする。 左右の幅や上下の高さと点画の変化に ついて意識できるようにする。	B ：左右の幅、上下の高さ、点画の変 化について考えている。 A ：左右・上下の組み立て方、点画の 変化の良しあしを考えている。 支援 ：毛筆文字などを使って、組み立 て方や幅、点画の変化が確かめられる ようにする。	B ：左右・上下の組み立て方のある漢 字を書く活動に取り組もうとしてる。 他の文字でも左右・上下の組み立て方 と点画の変化に気をつけて書こうとす る意識をもっている。 A ：左右・上下の組み立て方のある漢 字を書く活動に、意欲をもって取り組 もうとしてる。 常に左右・上下の組み立て方と点画の 変化に気をつけて書こうとする意欲を もっている。 支援 ：漢字合わせクイズを行ったり、 部首のものと字について調べたりす ることで、関心を高めるようにする。 学習した以外の文字でも、組み立て方 と点画の変化に気をつけて書くよう呼 びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
12月	1	【レッツ・トライ】 文化 ― 短歌	○文字の大きさと配列について理解することができる。 ○文字の大きさや行の中心に気をつけて、配列を整えて書くことができる。	アイ	B ：文字の大きさと配列について理解している。文字の大きさと配列に気をつけて書いている。 A ：文字の大きさと配列についてよく理解し、字形を把握している。文字の大きさと配列に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：文字の外形を囲むことで、文字の大きさが視覚的に確かめられるようにする。 中心線などの補助線を引いて、配列を確かめられるようにする。	B ：文字の大きさと配列について考えている。 A ：文字の大きさと配列について、よく考えている。 支援 ：試書と教材文字とを比較して、自分の課題がわかるようにする。	B ：文字の大きさと配列に気をつけて書こうとしている。 書写以外の学習場面でも、文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：文字の大きさと配列に気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：文字の大きさと配列に着目するよう呼びかける。 書写以外の学習でも、文字の大きさや配列に気をつけて書くよう呼びかける。
12・ 1月	3～4	書きぞめ 『元気な子』	○床の上や立って書くときの姿勢、筆の持ち方に気をつけて、これまでの学習を生かして書くことを理解することができる。 ○文字の大きさや中心に気をつけて、字形を整えて書くことができる。	アイウ	B ：書きぞめの姿勢や持ち方、筆使いについて理解している。 これまで学習した筆使いや文字の大きさに気をつけて書いている。 A ：書きぞめの姿勢や持ち方、筆使いについて、よく理解している。 これまで学習した筆使いや文字の大きさに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：今まで学習した筆使いについて、点画の名称を確認しながら理解できるようにする。 書きぞめ用紙を縦半分に折り、中心を意識できるようにする。 外形を考えることで、文字の大きさについて確かめられるようにする。	B ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方について考えている。 A ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方の良さあしを考えている。 支援 ：姿勢図や筆の持ち方の図版などを使って、確かめられるようにする。	B ：書きぞめに関心をもち、書こうとしている。 他の学習の書写場面でも、よい姿勢や持ち方で、字形を整えて書こうとする意識をもっている。 A ：書きぞめに関心をもち、積極的に書こうとしている。 常により姿勢や持ち方で、字形を整えて書こうとする意識をもっている。 支援 ：書きぞめの由来を説明し、書きぞめについて関心が高まるようにする。 書写以外の学習でも、姿勢や持ち方、筆使いに気をつけて書くよう呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 月	適時	【知りたい 文字の世界】 さまざまなかるた	○さまざまなかるたについて知り，文字に対する興味・関心を高めることができる。	アイ			B ：さまざまなかるたについて調べようとしている。 A ：さまざまなかるたについて，積極的に調べようとしている。 支援 ：学校にあるさまざまなかるたを例示することで，関心を高めるようにする。
	1	【レッツ・トライ】 かるた一ぼうさいかるたを作る	○これまで学習した内容を生かして，ぼうさいかるたの文字を書くことができる。 ○用紙全体に対する文字の大きさや配列を考えて書くことができる。	アイ	B ：読みやすい文字の大きさや配列を理解している。 文字の大きさや配列に気をつけて防災かるたを書いている。 A ：読みやすい文字の大きさや配列について，よく理解している。 文字の大きさや配列を整えて，防災かるたを書いている。 支援 ：行が曲がってしまう場合は鉛筆で薄く中心線を書いたり，文字を書く位置に丸で印をつけたりするよう呼びかける。	B ：読みやすい文字の大きさや配列について考えている。 A ：読みやすい文字の大きさや配列について，よく考えている。 支援 ：平仮名は漢字よりやや小さく書くこと，頭文字は大きく書くことなどを，具体的に説明する。	B ：文字の大きさと配列に気をつけて書こうとしている。 書写以外の学習場面でも，文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：文字の大きさと配列に気をつけて，字形を整えて書こうとしている。 常に文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：文字の大きさと配列に着目するよう呼びかける。 書写以外の学習でも，文字の大きさや配列に気をつけて書くよう呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2・3月	4～5	8 学習のまとめ 『平和』	○これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで、めあてに気をつけて書くことができる。 ○学習したことを生かして、硬筆で書いて確かめることができる。	アイウ	B ：これまで学習した字形の整え方について理解している。 これまで学習したことを生かして、字形の整え方に気をつけて書いている。 A ：これまで学習した字形の整え方について、よく理解している。 これまで学習したことを生かして、字形を整えて書いている。 支援 ：1年間の学習内容や成果が確かめられるようにする。 字形の整え方の要点や筆使いなどを具体的に示すようにする。	B ：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んでいる。 A ：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを適切に選んでいる。 支援 ：教材文字と比べて批正することで、自分のめあてが見つけられるように支援する。	B ：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで書こうとしている。 硬筆の学習でも、字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選び、積極的に書こうとしている。 常に字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：1年間の学習事項や筆使いなどが確かめられるようにする。 書写の授業以外でも、字形に気をつけて書くよう呼びかける。
		【知っておこう】 手紙—学習発表会の案内の手紙	○手紙の形式を理解し、文字の大きさや行の中心に気をつけて書くことができる。	アイ	B ：手紙の書き方について理解している。 A ：手紙の書き方について、よく理解している。 支援 ：教科書の紙面を参照しながら、手紙の書式について確かめられるようにする。 封筒に対して文字が大きすぎたり小さすぎたりしのように、教科書を見ながら確かめられるようにする。		
	適時	【書いて 伝え合おう】 新聞—学級新聞を作ろう	○書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。	アイ	B ：読みやすく書くための基準について理解している。 文字の大きさや配列に注意したり、筆記用具を工夫したりしている。 A ：読みやすく書くための基準について、よく理解している。 文字の大きさや配列に注意したり、筆記用具を工夫したりして、読みやすく書き表している。 支援 ：配列は整っているか、筆記用具は効果的に使われているかなど、具体的な投げかけをする。 鉛筆で下書きをすることで、文字の大きさや配列のめやすになるようにする。	B ：読みやすく書くための基準を意識して、新聞を見直している。 A ：読みやすく書くための基準を意識して、新聞を見直したり工夫したりしている。 支援 ：読みやすく書くための基準について確かめられるようにする。	B ：書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもっている。 他の学習場面でも、読みやすく書くために工夫していこうとする意識をもっている。 A ：書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも進んで生かしていく意欲をもっている。 常に読みやすく書くために工夫していこうとする意識をもっている。 支援 ：読みやすい掲示物の例などを具体的に例示する。 書写の授業以外でも、相手の読みやすさを考えて書くよう呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		【知っておこう】 メモーダム見学での聞き 取りメモ	○書写で学習した内容を， 他教科での学習や日常生活 にも生かしていく意欲をも つことができる。	アイ	B ：メモの取り方について理解してい る。 A ：メモの取り方について，よく理解 している。 支援 ：教科書の紙面を参照しながら， メモの取り方について確かめられるよ うにする。		
		【漢字表】 四年生で学習する漢字 三年生で学習した漢字	○3年生で学習した字形の 整え方，筆順などを確かめ ることができる。 ○4年生で学習した字形の 整え方，筆順などを確かめ ることができる。 ○巻末漢字表を活用した漢 字の仲間分けの活動を行っ たり，筆順をまちがえやす い漢字について確かめたり することができる。	アイ	B ：同じ点画をもつ漢字，同じ組み立 て方をもつ漢字など，漢字の仲間分け について理解している。 同じ点画をもつ漢字，同じ組み立て方 をもつ漢字など，漢字の仲間分けをし ている。 A ：同じ点画をもつ漢字，同じ組み立 て方をもつ漢字など，漢字の仲間分け について，よく理解している。 同じ点画をもつ漢字，同じ組み立て方 をもつ漢字など，漢字を正しく仲間分 けしている。 支援 ：これまで学習した基本，点画な どの内容を振り返り，確かめられるよ うにする。 どの文字のどの部分に着目して探す か，具体的に説明する。	B ：これまで学習した字形の整え方， 筆順について考えている。 同じ点画をもつ漢字，同じ組み立て方 をもつ漢字など，漢字の仲間分けにつ いて考えている。 A ：これまで学習した字形の整え方， 筆順について，よく考えている。 同じ点画をもつ漢字，同じ組み立て方 をもつ漢字など，漢字の仲間分けにつ いて判断している。 支援 ：教科書紙面を使って，正しい筆 順や字形の整え方などが確かめられる ようにする。 どの文字のどの部分に着目して探す か，具体的に説明する。	B ：巻末漢字表を使った漢字の仲間分 けの活動や，漢字の成り立ちについ て，関心を高めている。 書写以外の学習でも，筆順や字形に気 をつけて書こうとする意識をもってい る。 A ：巻末漢字表を使った漢字の仲間分 けの活動や，漢字の成り立ちについて 関心を高め，進んで取り組もうとして いる。 常に筆順や字形に気をつけて書こうと する意識をもっている。 支援 ：巻末漢字表の使い方について確 かめられるようにする。 書写の授業以外でも，気をつけるよう 意識づける。
		【ひらがな表】 【かたかな表】 【筆記用具の特ちょう】	○平仮名，片仮名の筆順や 字形を確かめることができ る。	アイウ	B ：平仮名，片仮名の筆順や字形につ いて理解している。 A ：平仮名，片仮名の筆順や字形につ いて，よく理解している。 支援 ：ふだん，字形を整えにくい文字 に関して，教科書を見ながら確認でき るようにする。		B ：平仮名，片仮名の筆順や字形を確 かめている。 常に平仮名，片仮名の筆順や字形を確 かめようとする意識をもっている。 A ：平仮名，片仮名の筆順や字形を， 積極的に確かめている。 常に平仮名，片仮名の筆順や字形を確 かめて，丁寧に書こうとする意識を もっている。 支援 ：まちがえやすい筆順について， 重点的に確かめられるように呼びかけ る。 書写の授業以外でも，常に気をつける よう意識づける。

令和5年度 書写 評価規準（5年生）

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	2	場面に合わせた 書き方のくふう	○さまざまな場面における書き方の工夫について知り，興味・関心を高めることができる。	アウ	B ：読みやすく書く方法について話し合っている。 A ：文字の大きさや適切な筆記用具の工夫など，具体的な要点をあげながら話し合っている。 支援 ：文字の大きさや配列，筆記用具の工夫などについて，実際の掲示物を参照しながら理解できるようにする。	B ：さまざまな場面における書き方の工夫について考えている。 A ：場面に応じた書き方の工夫について，よく考えている。 支援 ：教科書の紙面を参照しながら，具体的な場面をあげて考えるようにする。	B ：さまざまな場面における書き方の工夫について知り，興味・関心を高めている。 A ：さまざまな場面における書き方の工夫について理解し，興味・関心を高めている。 常に相手意識をもって，読みやすさなどに気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：これまでに書いたものの「読みやすさ」がどうだったか問いかけることで，ふだんの生活でも読みやすさについて意識するよう呼びかける。
		五年生で学習すること 目次	○1年間の学習内容や学習の進め方について確認し，書写学習に対する意欲をもつことができる。	アウ	B ：1年間のめあてや学習内容について知っている。 A ：1年間のめあてや学習内容について理解している。 支援 ：前学年で学習した内容をふまえながら説明する。		B ：1年間の学習内容を知り，書写学習に対する意欲をもっている。 A ：1年間の学習内容を知り，進んで書写学習に取り組む意欲をもっている。 支援 ：教科書紙面を参照しながら，1年間の学習内容と，学習したことを書写以外の学習にも生かしていくことについて説明する。
		1 はじめの学習 ■学習の進め方 ■点画の種類 ■姿勢と持ち方、用具のあつかい方	○用具の並べ方や扱い方について確かめることができる。 ○よい姿勢や筆の持ち方について確かめることができる。 ○常により姿勢やよい持ち方を意識して書くことができる。	アイウ	B ：用具の扱い方や姿勢，筆の持ち方，筆の扱い方を理解している。 用具の扱い方や姿勢，筆の持ち方が身についている。 これまでに学習した「筆圧」や「点画の種類」について理解している。 A ：用具の扱い方や，よい姿勢，筆の持ち方で書くことを，よく理解している。 用具の扱い方や，姿勢，筆の持ち方が，よく身についている。 これまでに学習した「筆圧」や「点画の種類」について，よく理解している。	B ：用具の扱い方や姿勢，筆の持ち方，筆の扱い方の良しあしを考えている。 筆の穂の柔らかさや筆圧について考えている。 A ：用具の扱い方や姿勢，筆の持ち方，筆の扱い方の良しあしを判断できる。 筆の穂の柔らかさや筆圧について，よく考えている。	B ：用具の扱い方やよい姿勢，筆の持ち方，筆の扱い方を確かめようとしている。 他の書写場面でも，よい姿勢やよい持ち方で，筆の穂の柔らかさや筆圧，「点画の種類」を意識して書こうとする意識をもっている。 A ：用具の扱い方やよい姿勢，筆の持ち方，筆の扱い方を積極的に確かめようとしている。 常により姿勢やよい持ち方で，筆の穂の柔らかさや筆圧，「点画の種類」を意識して書こうとする意識をもっている。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					支援 ：よい姿勢やよい筆の持ち方で書くことの大切さについて理解を促す。 用具の扱い方やよい姿勢，筆の持ち方のポイントを具体的に説明する。 教科書紙面を参照しながら，「点画の種類」と筆圧のかけ方について理解を促す。	支援 ：どこを正すと姿勢，筆の持ち方がよくなるかを，基準に照らして説明する。 筆の状態を確認し，運筆がしやすい状態に整えるようにする。 教科書紙面を参照しながら，筆圧を三段階でとらえて，力の入れ方と太さを確かめられるようにする。	支援 ：用具の配置図や姿勢図，持ち方の写真と比べて，自分でチェックできるようにする。 書写の授業以外でも気をつけるように呼びかける。
5 月	2 ～ 3	2 文字の組み立て方 (中と外) 『草原』	○中と外の部分の組み立て方を理解することができる。 ○中と外の部分の組み立て方に気をつけて，字形を整えて書くことができる。 ○中と外の部分の組み立て方を確かめて，硬筆で字形を整えて書くことができる。	アイウ	B ：中と外の部分の組み立て方について理解している。 中と外の部分の組み立て方に気をつけて書いている。 A ：中と外の部分の組み立て方についてよく理解し，字形を把握している。 中と外の部分の組み立て方に気をつけて，字形を整えて書いている。 支援 ：他の文字の例を見ることによって，中と外の部分の組み立て方を比べてみるができるようにする。	B ：中と外の部分の組み立て方について考えている。 A ：中と外の部分の組み立て方の良さしを考えている。 支援 ：拡大文字などを使って，文字の組み立て方が確かめられるようにする。	B ：中と外の部分の組み立て方に気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも，文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：中と外の部分の組み立て方に気をつけて，字形を整えて書こうとしている。 常に文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：中と外の部分の組み立て方に気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも，文字の組み立て方に気をつけて書くよう呼びかける。
	適時	【知りたい 文字の世界】 「活字」について知ろう	○活字と手書き文字の違いに気づき，文字に対する興味・関心を高めることができる。 ○日常生活のなかで見られる活字と手書き文字について，話し合うことができる。	アウ	B ：手書き文字と活字の特徴がわかる。 A ：手書き文字と活字の特徴について，よく理解している。 支援 ：教科書紙面を使いながら説明をすることで理解を促す。	B ：手書き文字と活字の違いについて話し合い，考えている。 A ：手書き文字と活字の違いについて話し合い，よく考えている。 支援 ：教科書の例，または用意しておいた拡大文字例などを使い，手書き文字と活字の違いに気づくようにする。	B ：手書き文字と活字の違いに気づき，文字に関する関心を高めている。 手書き文字と活字の特徴について，積極的に調べようという意識をもっている。 A ：手書き文字と活字の違いに気づき，積極的に調べようとしている。 手書き文字と活字の特徴について意識し，使い分けようという意識をもっている。 支援 ：身のまわりにある手書き文字と活字の例を提示して，目的に応じた使い方に気づくようはたらきかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6月	3	3 文字の組み立て方(中と外)と、穂先の動き『道』	○「しんにょう」と中の部分の組み立て方を理解することができる。 ○「しんにょう」の筆使い（穂先の動きと筆圧）に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○中と外の部分の組み立て方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アイウ	B ：「しんにょう」と中の部分の組み立て方について理解している。 「しんにょう」の中の部分の組み立て方に気をつけて書いている。 「しんにょう」の筆使いに気をつけて書いている。 A ：「しんにょう」と中の部分の組み立て方についてよく理解し、字形を把握している。 「しんにょう」の中の部分の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書いている。 「しんにょう」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：他の文字の例を見ることによって、中と外の部分の組み立て方を比べてみるようにする。 「しんにょう」の筆圧のかけ方が確認できるようにする。	B ：「しんにょう」と中の部分の組み立て方について考えている。 A ：「しんにょう」と中の部分の組み立て方の良しあしを考えている。 支援 ：拡大文字などを使って、文字の組み立て方が確かめられるようにする。	B ：「しんにょう」と中の部分の組み立て方に気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：「しんにょう」と中の部分の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：「しんにょう」と中の部分の組み立て方に気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも、文字の組み立て方に気をつけて書くよう呼びかける。
		〈硬筆の学習〉 文字の組み立て方（中と外）	○中と外の部分の組み立て方を理解することができる。 ○中と外の部分の組み立て方に気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アウ	B ：中と外の部分の組み立て方について理解している。 中と外の部分の組み立て方に気をつけて書いている。 A ：中と外の部分の組み立て方についてよく理解し、字形を把握している。 中と外の部分の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：拡大文字や分解文字などを使って、組み立て方が視覚的に理解できるようにする。 構成要素である部首について意識できるようにする。	B ：中と外の部分の組み立て方について考えている。 A ：中と外の部分の組み立て方の良しあしを考えている。 支援 ：教科書の図版を参照し、組み立て方の順序について確かめられるようにする。	B ：中と外の部分の組み立て方に気をつけて、硬筆で書こうとしている。 他の文字でも、文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：中と外の部分の組み立て方に気をつけて、字形を整えて硬筆で書こうとしてる。 常に文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意欲をもっている。 支援 ：中と外の部分から構成されるさまざまな文字ついて調べることで、関心を高めるようにする。 学習した以外の文字でも、組み立て方に気をつけて書くよう呼びかける。
	1	【レッツ・トライ】 文化—『竹取物語』を書く	○文字の大きさと行の中心に気をつけて書くことができる。	アウ	B ：文字の大きさ、文字の中心を行の中心に揃えて書く方法について理解している。 文字の大きさと配列に気をつけて書いている。 A ：文字の大きさ、文字の中心を行の中心に揃えて書く方法について、よく理解している。 文字の大きさに気をつけて、配列を整えて書いている。	B ：文字の大きさや、文字の中心を行の中心に揃えて書く方法について考えている。 A ：文字の大きさや、文字の中心を行の中心に揃えて書く方法について、よく考えている。	B ：文字の大きさと配列に気をつけて書く意欲をもっている。 書写以外の学習でも、文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：文字の大きさと配列に気をつけて書く意欲をもち、積極的に取り組んでいる。 常に文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					支援 ：補助線を引くことで、文字の位置が視覚的に確かめられるようにする。 中心線などの補助線を引いて、配列を確かめられるようにする。	支援 ：試書と教材文字とを比較して、自分の課題がわかるようにする。	支援 ：教科書を見ることで、今まで学習した配列のポイントについて確かめるようにする。 書写の授業以外でも、文字の大きさや配列に気をつけて書くよう呼びかける。
7月	2～3	4 筆順と字形 『成長』	○筆順と字形（点画の接し方など）との関係を理解することができる。 ○「左はらい」と「横画」の筆順と点画の接し方に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○筆順と点画の接し方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アイウ	B ：筆順と字形との関係について理解している。 「左はらい」と「横画」の筆順と点画の接し方に気をつけて書いている。 A ：筆順と字形との関係についてよく理解し、字形の整え方を把握している。 「左はらい」と「横画」の筆順と点画の接し方に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：他の文字の例を見ることによって、筆順と字形との関係を確かめられるようにする。 筆順と接し方について、具体的に説明できるようにする。	B ：筆順と字形との関係について考えている。 A ：筆順と字形との関係について、よく考えている。 支援 ：分解文字などを使って、筆順と字形との関係を確かめられるようにする。	B ：筆順と字形に気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、筆順と字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：筆順と字形に気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に筆順と字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：点画どうしの接し方について説明することで、筆順と字形に対する関心を高める。 学習した以外の文字や硬筆でも、筆順と字形に気をつけて書くよう呼びかける。
		＜硬筆の学習＞ 筆順と字形	○筆順の原則を理解することができる。 ○筆順に気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アウ	B ：筆順の原則について理解している。 筆順と字形に気をつけて書いている。 A ：筆順の原則についてよく理解し、字形の整え方を把握している。 正しい筆順で、字形を整えて書いている。 支援 ：いろいろな文字の例にあてはめて考えることによって、筆順と字形の関係を確かめられるようにする。 字形が整っていない文字について、筆順を確かめられるようにする。	B ：筆順の原則について考えている。 A ：筆順の原則についてよく考えている。 なぜ筆順どおりに書くことが大切なのか、考えている。 支援 ：教科書の図版などを使って、筆順の原則が確かめられるようにする。	B ：筆順と字形に気をつけて、硬筆で書こうとしている。 他の書写場面でも、筆順の原則に従って、字形を整えて書こうとする意識をもっている。 A ：筆順と字形に気をつけて、字形を整えて硬筆で書こうとしている。 常に筆順の原則に従って、字形を整えて書こうとする意識をもっている。 支援 ：文字の中のどの部分に筆順の原則が使われているか説明することで、筆順に対する関心を高める。 書写の授業以外でも、筆順と字形に気をつけて書くよう呼びかける。
9月	1	【レッツ・トライ】 メモー工場見学のメモ	○さまざまな場面に適した書き方について、話し合うことができる。 ○メモの取り方を知り、他教科での学習活動や日常生活に生かす意欲をもつことができる。	アウ	B ：メモの取り方について理解している。 目的に応じた書き方について理解している。 メモの取り方を知り、立ったり座ったりしてメモを取っている。 A ：メモの取り方について、よく理解している。 目的に応じた書き方について、よく理解している。 メモの取り方を理解して、立ったり座ったりしてメモを取っている。	B ：さまざまな場面に適した書き方について考え、話し合っている。 A ：さまざまな場面に適した書き方についてよく考え、話し合っている。	B ：メモの取り方を知り、他教科での学習活動や日常生活に生かしていこうとする意欲をもっている。 書写以外の学習場面でも、目的に応じた書き方で書こうとする意識をもっている。 A ：メモの取り方を知り、他教科での学習活動や日常生活に進んで生かしていこうとする意欲をもっている。 常に目的に応じた書き方で書こうとする意識をもっている。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					支援 ：教科書の紙面を参照しながら、書き方のポイントについて確認する。書きにくい場合は、筆圧や姿勢について確かめられるようにする。	支援 ：具体的な場面を例にあげて、目的に応じた書き方について投げかけるようにする。	支援 ：書写で学習した内容を、他教科で生かしていく学習であることを伝える。書写の授業以外でも、目的に応じた書き方で書くよう呼びかける。
9・10月	2	5 文字の大きさ（漢字どうし） 『白雲』	○漢字どうしの形や大きさの違いを理解することができる。 ○漢字どうしのつり合いに気をつけて書くことができる。 ○漢字どうしの大きさを確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アイウ	B ：漢字どうしの形や大きさの違いについて理解している。 漢字どうしのつり合いに気をつけて書いている。 A ：漢字どうしの形や大きさの違いについてよく理解し、字形を把握している。 漢字どうしのつり合いに気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：文字の外形を囲むことで、文字の大きさが視覚的に確かめられるようにする。 外形が書いてある練習用紙を使うことで、文字の大きさが確かめられるようにする。	B ：漢字どうしの形や大きさの違いについて考えている。 A ：漢字どうしの形や大きさの違いについて、よく考えている。 支援 ：試書と教材文字とを比較して、自分の課題がわかるようにする。	B ：漢字どうしのつり合いに気をつけて書こうとしている。 書写以外の学習場面でも、漢字どうしのつり合いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：漢字どうしのつり合いに気をつけて、字形を整えてよく書こうとしている。 常に漢字どうしのつり合いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：漢字どうしの大きさに着目するよう呼びかける。 書写の授業以外でも、漢字どうしのつり合いに気をつけて書くよう呼びかける。
	2～3	6 文字の大きさ（漢字と平仮名） 『登る』	○漢字と平仮名の形や大きさの違いを理解することができる。 ○漢字と平仮名のつり合いに気をつけて書くことができる。 ○漢字と平仮名の大きさを確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アイウ	B ：漢字と平仮名のつり合いについて理解している。 漢字と平仮名のつり合いに気をつけて書いている。 A ：， 漢字と平仮名のつり合いについてよく理解し、字形を把握している。 漢字と平仮名のつり合いに気をつけて、配列よく書いている。 支援 ：文字の外形を囲むことで、文字の大きさが視覚的に確かめられるようにする。 外形が書いてある練習用紙を使うことで、文字の大きさが確かめられるようにする。	B ：文字の形や大きさの違いについて考えている。 A ：文字の形や大きさの違いについて、よく考えている。 支援 ：それぞれの教材文字は、大きさや形がどう変わるのか、同じ課題の友達と考えることができるようにする。	B ：漢字と平仮名のつり合いに気をつけて書こうとしている。 書写以外の学習場面でも、漢字と仮名のつり合いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：漢字と平仮名のつり合いに気をつけて、配列よく書こうとしている。 常に漢字と仮名のつり合いに気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：自分の課題はどのようなところにあるか、前時を振り返り確かめられるようにする。
	適時	【知りたい 文字の世界】 平仮名のもとになる漢字	○平仮名のもとになる漢字を知り、文字に対する興味・関心を高めることができる。	アウ	B ：平仮名の字源について理解している。 A ：平仮名の字源について、よく理解している。 支援 ：漢字をくずした文字を実際を書いてみることで、字形の変化を感じられるようにする。		B ：他の平仮名についても、字源について関心をもち調べている。 A ：他の平仮名についても、字源について関心をもち、積極的に調べている。 支援 ：他の平仮名の字源や片仮名の字源を紹介することで、関心を高めるようにする。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10・11月	3	7 穂先の動きと、線のつながり 『あこがれ』	○穂先の動きと、線と線のつながりについて理解することができる。 ○用紙全体に対する文字の大きさに気をつけて、行の中心をそろえて書くことができる。 ○線と線のつながりを確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アイウ	B ：穂先の動きと、線と線のつながりについて理解している。 穂先の動きと、線と線のつながりに気をつけて書いている。 A ：穂先の動きと、線と線のつながりについて、よく理解している。 穂先の動きと、線と線とのつながりに、よく気をつけて書いている。 支援 ：書いている様子を友だちと見合いながら、次につながる穂先の動きについて確かめられるようにする。	B ：穂先の動きと、線と線のつながりについて考えている。 A ：穂先の動きと、線と線のつながりについて、よく考えている。 支援 ：朱墨や薄墨を使って、穂先の向きや通り道が確かめられるようにする。	B ：穂先の動きと、線と線のつながりについて関心をもっている。 他の文字や硬筆でも、次の線へのつながりに気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：穂先の動きと、線と線のつながりについて関心をもち、積極的に書こうとしている。 常に次の線へのつながりに気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：次の線へつながる穂先の動きについて、教科書の図版を使いながら説明する。 学習した以外の文字でも、次の線へのつながりに気をつけて書くよう呼びかける。
	2	【レッツ・トライ】 ポスター ― 委員会のポスター	○用紙全体に対する文字の大きさや余白のとり方に気をつけて、配列を整えて書くことができる。 ○読み手にわかりやすく効果的に伝えるための、筆記用具の工夫について理解することができる。 ○書写で学習した内容を、学校生活に生かしていく意欲をもち、丁寧に書くことができる。	アウ	B ：読みやすく書くための基準について理解している。 文字の大きさ、行の中心、余白、行頭の位置に気をつけて書いている。 A ：読みやすく書くための基準について、よく理解している。 文字の大きさ、行の中心、余白、行頭の位置に気をつけて、配列よく書いている。 支援 ：配列は整っているか、筆記用具は効果的に使われているかなど、具体的な投げかけをする。 鉛筆で下書きをすることで、文字の大きさや配列のめやすになるようにする。	B ：読みやすく書くための基準を確認し、自分のめあてを設定している。 A ：読みやすく書くための基準を確認し、自分のめあてを設定し、解決方法を選択している。 支援 ：読みやすく書くための基準について確かめられるようにする。	B ：書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもっている。 A ：書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも積極的に生かしていく意識をもっている。 支援 ：読みやすい掲示物の例などを具体的に例示する。 書写の授業以外でも、相手の読みやすさや効果を考えて書くよう呼びかける。
	2	8 用紙に対する文字の大きさと配列 年賀状	○用紙全体に対する文字の大きさに気をつけて、行の中心をそろえて書くことができる。 ○学習したことを生かして、年賀状を書くことができる。	アイウ	B ：用紙に対する文字の大きさと配列について理解している。 用紙に対する文字の大きさと配列に気をつけて書いている。 A ：用紙に対する文字の大きさと配列について、よく理解している。 用紙に対する適切な文字の大きさで、文字の中心を行の中心に揃えて書いている。 支援 ：用紙には、鉛筆で薄く中心線を入れたり、文字の大きさの目安となる印をつけたりしてもよいことを助言する。	B ：用紙に対する文字の適切な大きさと配列について考えている。 A ：用紙に対する適切な文字の大きさと配列について、よく考えている。 支援 ：用紙に対する文字数を考えて文字の大きさを決めるよう助言する。	B ：他の文字や硬筆でも、用紙全体に対する文字の大きさと配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：常に用紙全体に対する文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：実際のはがきの例を提示することで、文字の大きさや配列に気をつけて書くことへの意欲を高められるようにする。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
12・ 1月	4～5	書きぞめ 『希望の朝』	○床の上や立って書くときの姿勢、筆の持ち方に気をつけて、これまでの学習を生かして書くことを理解することができる。 ○文字の大きさや組み立て方に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○文字の中心に気をつけて書くことができる。	アイウ	B ：書きぞめの姿勢や持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心について理解している。 これまで学習した文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて書いている。 A ：書きぞめの姿勢や持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心について、よく理解している。 これまで学習した文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて、配列よく書いている。 支援 ：今まで学習した内容について、教科書を確認しながら理解できるようにする。 書きぞめ用紙を縦半分に折り、中心を意識できるようにする。 外形を考えることで、文字の大きさについて確かめられるようにする。	B ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方について考えている。 A ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方の良さしを考えている。 支援 ：姿勢図や筆の持ち方の図版などを使って、確かめられるようにする。	B ：書きぞめに関心をもち、書こうとしている。 他の学習の書写場面でも、よい姿勢や持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：書きぞめに関心をもち、積極的に書こうとしている。 常に姿勢や持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて、配列よく書こうとする意識をもっている。 支援 ：書きぞめの由来を説明し、書きぞめについて関心が高まるようにする。 書写の授業以外の書写場面でも、姿勢や持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて書くよう呼びかける。
	適時	【書いて 伝え合おう】 はがき ― 年賀状、絵 はがきを書こう	○書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。	アイウ	B ：相手に伝わりやすい効果的な書き方について理解している。 文字の大きさや配列に注意したり、筆記用具を工夫したりしている。 A ：読みやすく書くための基準について、よく理解している。 文字の大きさや配列に注意したり、筆記用具を工夫したりして、読みやすく書き表している。 支援 ：配列は整っているか、筆記用具は効果的に使われているかなど、具体的な投げかけをする。 鉛筆で下書きをすることで、文字の大きさや配列のめやすになるようにする。	B ：読みやすく書くための基準を意識して、はがきを見直している。 A ：読みやすく書くための基準を意識して、はがきを見直したり工夫したりしている。 支援 ：読みやすく書くための基準について確かめられるようにする。	B ：書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもっている。 他の学習場面でも、読みやすく書くために工夫していこうとする意識をもっている。 A ：書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも進んで生かしていく意欲をもっている。 常に読みやすく書くために工夫していこうとする意識をもっている。 支援 ：読みやすい掲示物の例などを具体的に例示する。 書写の授業以外でも、相手の読みやすさを考えて書くよう呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2・3月	4～5	9 学習のまとめ『考える子』	○これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで、めあてに気をつけて書くことができる。 ○学習したことを生かして、硬筆で書いて確かめることができる。	アイウ	B ：これまで学習した文字の大きさや字形の整え方について理解している。 これまで学習したことを生かして、漢字と平仮名の大きさに気をつけて書いている。 A ：これまで学習した文字の大きさや字形の整え方について、よく理解している。 これまで学習したことを生かして、漢字と平仮名の大きさに気をつけて、配列よく書いている。 支援 ：1年間の学習内容や成果が確かめられるようにする。 配列よく書くための要点について具体的に示すようにする。	B ：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んでいる。 A ：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを適切に選んでいる。 支援 ：『考える子』を試書することで、自分のめあてが見つけられるように支援する。	B ：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで書こうとしている。 硬筆の学習でも、漢字と平仮名の大きさに気をつけて、配列よく書こうとする意識をもっている。 A ：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選び、積極的に書こうとしている。 常に漢字と平仮名の大きさに気をつけて、配列よく書こうとする意識をもっている。 支援 ：1年間の学習内容や筆使いなどが確かめられるようにする。 書写の授業以外でも、文字の大きさや配列に気をつけて書くよう呼びかける。
		【知っておこう】 手紙 ― 工場見学のお礼の手紙	○書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。	アウ	B ：手紙の書き方について理解している。 A ：手紙の書き方について、よく理解している。 支援 ：教科書の紙面を参照しながら、手紙の書式について確かめられるようにする。 封筒に対して文字が大きすぎたり小さすぎたりしのように、教科書を見ながら確かめられるようにする。		

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	適時	【漢字表】 五年生で学習する漢字 四年生で学習した漢字	○4年生で学習した字形の整え方などを確かめることができる。 ○5年生で学習した筆使いや筆順、組み立て方などを確かめることができる。 ○漢字表を活用した、漢字の仲間分けの活動を行ったり、筆順をまちがえやすい漢字について確かめたりすることができる。	アウ	B ：同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど、漢字の仲間分けについて理解している。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど、漢字の仲間分けをしている。 A ：同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど、漢字の仲間分けについて、よく理解している。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど、漢字を正しく仲間分けしている。 支援 ：今まで学習した文字の組み立て方などの内容を振り返り、確かめられるようにする。 辞典などを使って、漢字の部分について調べるようにする。	B ：これまで学習した字形の整え方、筆順について考えている。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど、漢字の仲間分けについて考えている。 A ：これまで学習した字形の整え方、筆順について、よく考えている。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど、漢字の仲間分けについて判断している。 支援 ：教科書紙面を使って、正しい筆順や字形の整え方などを確かめられるようにする。 どの文字のどの部分に着目して探すか、具体的に説明する。	B ：漢字表を使った、漢字の仲間分けの活動や、漢字の成り立ちについて、関心を高めている。 他の学習場面でも、筆順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：漢字表を使った、漢字の仲間分けの活動や、漢字の成り立ちについて関心を高め、積極的に取り組もうとしている。 常に筆順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：漢字表の使い方について確かめられるようにする。 書写の授業以外でも、気をつけるよう意識づける。
		【平仮名表】 【すみ・すずり・紙の作り方】	○平仮名の字形や筆順を確かめることができる。	アウ	B ：平仮名、片仮名の筆順や字形について理解している。 A ：平仮名、片仮名の筆順や字形について、よく理解している。 支援 ：ふだん、字形を整えにくい文字に関して、教科書を見ながら確認できるようにする。		B ：平仮名、片仮名の筆順や字形を確かめている。 常に平仮名、片仮名の筆順や字形を確かめようとする意識をもっている。 A ：平仮名、片仮名の筆順や字形を、積極的に確かめている。 常に平仮名、片仮名の筆順や字形を確かめて、丁寧に書こうとする意識をもっている。 支援 ：まちがえやすい筆順について、重点的に確かめられるように呼びかける。 書写の授業以外でも、常に気をつけるよう意識づける。

令和5年度 書写 評価規準（6年生）

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 月	2	文字の旅	○日本の文字の歴史について知り，興味・関心を高めることができる。	アウ	B ：日本の文字の歴史について知っている。 A ：日本の文字の歴史について理解している。 支援 ：これから社会科で学習する内容と関連づけて説明するようにする。話し合いの観点として，文字の歴史に関することで知っていることがあるか，問いかけるようにする。	B ：文字が日本に伝わって現代に至るまでの流れについて考えている。 A ：文字が日本に伝わって現代に至るまでの流れについて，よく考えている。 支援 ：教科書紙面を見ながら，全体の流れについて確かめられるようにする。	B ：日本の文字の歴史について関心をもち，調べていこうという意識をもっている。 A ：日本の文字の歴史について関心をもち，積極的に調べていこうという意識をもっている。 支援 ：教科書の図版について，見たことのあるものはあるか問いかける。他教科との関連を知らせることで，関心がもてるようにはたらきかける。
		六年生で学習すること 目次	○1年間の学習内容や学習の進め方について確認し，書写学習に対する意欲をもつことができる。	アウ	B ：1年間のめあてや学習内容について知っている。 A ：1年間のめあてや学習内容について理解している。 支援 ：前学年で学習した内容をふまえながら説明する。		B ：1年間の学習内容を知り，書写学習に対する意欲をもっている。 A ：1年間の学習内容を知り，積極的に書写学習に取り組む意欲をもっている。 支援 ：教科書紙面を参照しながら，1年間の学習内容と，学習したことを書写以外の学習にも生かしていくことについて説明する。
		1 はじめの学習 ■学習の進め方 ■点画の種類 ■姿勢と持ち方、用具のあつかい方	○用具の並べ方や扱い方について確かめることができる。 ○よい姿勢や筆の持ち方について確かめることができる。 ○常によい姿勢やよい持ち方を意識して書くことができる。	アイウ	B ：用具の扱い方やよい姿勢，筆の持ち方，筆の扱い方を理解している。用具の扱い方やよい姿勢，筆の持ち方が身についている。これまでに学習した「筆圧」や「点画の種類」について理解している。 A ：用具の扱い方や，よい姿勢，筆の持ち方で書くことを，よく理解している。用具の扱い方や，よい姿勢，筆の持ち方が，よく身についている。これまでに学習した「筆圧」や「点画の種類」について，よく理解している。	B ：用具の扱い方や姿勢，筆の持ち方，筆の扱い方の良しあしを考えている。筆の穂の柔らかさや筆圧について考えている。 A ：用具の扱い方やよい姿勢，筆の持ち方，筆の扱い方の良しあしを判断している。筆の穂の柔らかさや筆圧について，よく考えている。	B ：用具の扱い方やよい姿勢，筆の持ち方，筆の扱い方を確かめようとしている。他の書写場面でも，よい姿勢，筆の持ち方で，筆の穂の柔らかさや筆圧，「点画の種類」を意識して書こうとする意識をもっている。 A ：用具の扱い方やよい姿勢，筆の持ち方，筆の扱い方を積極的に確かめようとしている。常によい姿勢，筆の持ち方で，筆の穂の柔らかさや筆圧，「点画の種類」を意識して書こうとする意識をもっている。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					支援 ：よい姿勢，筆の持ち方で書くことの大切さについて理解を促す。 用具の扱い方やよい姿勢，筆の持ち方のポイントを具体的に説明する。 教科書紙面を参照しながら，「点画の種類」と筆圧のかけ方について理解を促す。	支援 ：どこを正すと姿勢，筆の持ち方がよくなるかを，基準に照らして説明する。 筆の状態を確認し，運筆がしやすい状態に整えるようにする。 教科書紙面を参照しながら，筆圧を三段階でとらえて，力の入れ方と太さを確かめられるようにする。	支援 ：用具の配置図や姿勢図，持ち方の写真と比べて，自分でチェックできるようにする。 書写の授業以外でも気をつけるように呼びかける。
5・6月		2 文字の大きさと配列 『歩む』	○文字の大きさと配列を理解することができる。 ○文字の大きさと配列に気をつけて，字形を整えて書くことができる。 ○文字の大きさと配列を確かめて，硬筆で字形を整えて書くことができる。	アイウ	B ：用紙に対する文字の大きさと配列について理解している。 用紙に対する文字の大きさと配列に気をつけて書いている。 A ：用紙に対する文字の大きさと配列について，よく理解している。 用紙に対する適切な文字の大きさで，文字の中心を行の中心に揃えて書いている。 支援 ：練習用紙には，鉛筆で薄く中心線を入れたり，文字の大きさの目安となる印をつけたりしてもよいことを助言する。	B ：用紙に対する文字の適切な大きさと配列について考えている。 A ：用紙に対する適切な文字の大きさと配列について，よく考えている。 支援 ：教科書の文字例から，つり合いがとれていない文字の理由について問いかける。	B ：他の文字や硬筆でも，用紙全体に対する文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：常に用紙全体に対する文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：漢字と仮名を組み合わせた文章の例を提示することで，文字の大きさや配列に気をつけて書くことへの意欲を高められるようにする。
	3～4	【レッツ・トライ】 メモー話し合いメモ (書く速さを意識して)	○目的にふさわしい書く速さについて理解することができる。 ○許容される書き方について知り，関心をもつことができる。	アウ	B ：目的に応じた書き方について理解している。 許容される書き方について知っている。 A ：目的に応じた書き方について，よく理解している。 許容される書き方について理解している。 支援 ：許容される書き方について，使用すると便利な場面や，使用を控えた方がよい場面について，確かめられるようにする。	B ：さまざまな場面に適した書き方について，話し合っている。 A ：さまざまな場面に適した書き方について，積極的に話し合っている。 支援 ：具体的な場面を例にあげて，目的に応じた書き方について投げかけるようにする。	B ：メモの取り方を知り，他教科での学習活動や日常生活に生かしていこうとする意欲をもっている。 許容される書き方を知り，関心をもっている。 A ：メモの取り方を知り，他教科での学習活動や日常生活に積極的に生かしていこうとする意欲をもっている。 許容される書き方について関心をもち，積極的に調べている。 支援 ：書写で学習した内容を，他教科で生かしていく学習であることを伝える。 許容される書き方について，教科書を参照しながら点画の変化した形を確かめられるようにする。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6・ 7月	3	3 文字の組み立て方 (三つの部分) 『湖』	○三つの部分の組み立て方を理解することができる。 ○三つの部分の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○三つの部分の組み立て方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アイウ	B ：三つの部分の幅の違いと点画の形の変化について理解している。 三つの部分の組み立て方に気をつけて書いている。 A ：三つの部分の幅の違いと点画の形の変化についてよく理解し、字形を把握している。 三つの部分の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：他の文字の例を見ることによって、点画のゆずり合いを比べてみるようにする。 点画のゆずり合いが確認できるようにする。	B ：三つの部分の組み立て方について考えている。 A ：三つの部分の組み立て方の良しあしを考えている。 支援 ：拡大文字などを使って、文字の組み立て方が確かめられるようにする。	B ：三つの部分の組み立て方に気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：三つの部分の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 常に文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：三つの部分の組み立て方に気をつけるよう呼びかける。 学習した以外の文字でも、文字の組み立て方に気をつけて書くよう呼びかける。
		〈硬筆の学習〉 文字の組み立て方（左右、上下、中と外）	○左右、上下、中と外の組み立て方について理解することができる。 ○左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	アウ	B ：左右、上下、中と外の組み立て方について理解している。 左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて書いている。 A ：左右、上下、中と外の組み立て方についてよく理解し、字形を把握している。 左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書いている。 支援 ：拡大文字や分解文字などを使って、組み立て方が視覚的に理解できるようにする。	B ：左右、上下、中と外の部分の組み立て方について考えている。 A ：左右、上下、中と外の組み立て方の良しあしを考えている。 支援 ：教科書の図版を参照し、組み立て方について確かめられるようにする。	B ：左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて、硬筆で書こうとしている。 A ：左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて、字形を整えて硬筆で書こうとする。 支援 ：左右、上下、中と外から構成されるさまざまな文字について調べること、関心を高めるようにする。
	1	【レッツ・トライ】 ノート—国語のノート	○学習内容が理解しやすいノートのまとめ方を理解することができる。 ○書写で学習した内容を、他教科での学習に生かしていく意欲をもち、工夫して書くことができる。	アウ	B ：学習内容が理解しやすいノートのまとめ方についてわかっている。 学習内容が理解しやすいように工夫してノートをまとめている。 A ：学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について、よく理解している。 学習内容が理解しやすいように、よく工夫してノートをまとめている。 支援 ：簡条書きで書く際の行頭のあけ方や余白のとり方など、具体的な視点をあげて呼びかける。 自分の普段のノートを見直してみて、わかりにくい点はないか確かめるようにする。	B ：学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について考えている。 A ：学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について、よく考えている。 支援 ：どのように書いたら内容が理解しやすいか、具体的な書き方について例示するようにする。	B ：書写以外の学習場面でも、わかりやすい書き表し方を工夫して書こうとしている。 A ：書写で学習した内容を、他教科での学習に生かし、積極的に書こうとする意欲をもっている。 支援 ：書写で学習した内容を、他教科で生かしていく学習であることを伝える。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	1	【レッツ・トライ】 リーフレット― 校外 学習のリーフレット	○用紙全体に対する文字の 大きさや余白のとり方に気 をつけて、配列を整えて書 くことができる。 ○読み手にわかりやすく効 果的に伝えるための、筆記 用具の工夫について理解す ることができる。 ○書写で学習した内容を、 学校生活に生かしていく意 欲をもち、丁寧に書くこ とができる。	アウ	Ｂ ：読みやすく書くための基準につ いて理解している。 文字の大きさ、行の中心、余白、行頭 の位置に気をつけて書いている。 Ａ ：読みやすく書くための基準につ いて、よく理解している。 文字の大きさ、行の中心、余白、行頭 の位置に気をつけて、配列よく書いて る。 支援 ：配列は整っているか、筆記用具 は効果的に使われているかなど、具体 的な投げかけをする。 鉛筆で下書きをすることで、文字の大 きさや配列のめやすになるようにす る。	Ｂ ：読みやすく書くための基準を確認 し、自分のめあてを設定している。 Ａ ：読みやすく書くための基準を確認 し、自分のめあてを設定し、解決方法 を選択している。 支援 ：読みやすく書くための基準につ いて確かめられるようにする。	Ｂ ：書写で学習した内容を、他教科で の学習や日常生活にも生かしていく意 欲をもっている。 Ａ ：書写で学習した内容を、他教科で の学習や日常生活にも積極的に生かし ていく意識をもっている。 支援 ：読みやすい掲示物の例などを具 体的に例示する。 書写の授業以外でも、相手の読みやす さや効果を考えて書くよう呼びかけ る。
	適時	【知りたい 文字の世 界】 文字の成り立ち	○身のまわりで見られる文 字の成り立ちについて知 り、興味・関心を高めるこ とができる。 ○平仮名のもとになる漢字 を知り、文字に対する興 味・関心を高めることがで きる。	アウ			Ｂ ：文字の成り立ちについて関心をも ち調べている。 Ａ ：文字の成り立ちについて関心をも ち、積極的に調べている。 支援 ：他の平仮名の字源や片仮名の字 源を紹介することで、関心を高めるよ うにする。
9月	3	4 文字の大きさと配 列、点画のつながり 『思いやり』	○文字の大きさと配列、点 画のつながりについて理解 することができる。 ○文字の大きさと配列、点 画のつながりに気をつけて 書くことができる。 ○文字の大きさと配列、点 画のつながりを確かめて、 硬筆で字形を整えて書くこ とができる。	アイウ	Ｂ ：点画のつながりについて理解して いる。 配列のポイントについて理解してい る。 点画のつながりに気をつけて書してい る。 用紙に対する文字の大きさに気をつけ て、文字の中心を行の中心に揃えて書 いている。 Ａ ：点画のつながりについて、よく理 解している。 配列のポイントについて、よく理解し ている。 点画のつながりに、よく気をつけて書 いている。 用紙全体に対する文字の大きさに気を つけて、文字の中心を行の中心を揃え て配列よく書いている。 支援 ：書いている様子を友だちと見合 いながら、次につながる穂先の動きに ついて確かめられるようにする。 中心線が書いてある練習用紙を使うこ とで、配列が確かめられるようにす る。	Ｂ ：点画のつながりについて考えてい る。 用紙に対する文字の大きさと配列につ いて考えている。 Ａ ：点画のつながりについて、よく考 えている。 用紙全体に対する文字の大きさと配列 について、よく考えている。 支援 ：朱墨や薄墨を使って、穂先の向 きや通り道が確かめられるようにす る。	Ｂ ：点画のつながりについて関心をも っている。 配列に気をつけて書こうとしている。 Ａ ：点画のつながりや用紙に対する文 字の大きさや配列に気をつけて、積極 的に書こうとしている。 常に点画のつながりや用紙に対する文 字の大きさ、配列に気をつけて書こう とする意識をもっている。 支援 ：次の線へつながる穂先の動きに ついて、教科書の図版を使いながら説 明する。 学習した以外の文字でも、点画のつな がりや配列に気をつけて書くよう呼び かける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10月	1	【レッツ・トライ】 文化—『枕草子』を書く	○文字の大きさと配列に気をつけて書くことができる。	アウ	B：文字の大きさと配列について理解している。 文字の大きさと配列に気をつけて書いている。 A：文字の大きさと配列についてよく理解し、字形を把握している。 行の中心と余白のとり方に気をつけて、配列を整えて書いている。 支援：文字の外形を囲むことで、文字の大きさを視覚的に確かめられるようにする。 中心線などの補助線を引いて、配列を確かめられるようにする。	B：文字の大きさと配列について考えている。 A：文字の大きさと配列について、よく考えている。 支援：試書と教材文字とを比較して、自分の課題がわかるようにする。	B：伝統的言語文化の教材を書く意欲をもっている。 文字の大きさと配列に気をつけて書こうとしている。 書写以外の学習場面でも、文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A：伝統的言語文化の教材を積極的に書こうとしている。 文字の大きさと配列に気をつけて、積極的に書こうとしている。 常に文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援：まだ学習していない漢字については、筆順と字形を確認するよう呼びかける。 教科書の教材は、配列の整え方がどのようになっているか、確かめられるようにする。
	適時	【知りたい 文字の世界】 生活と文字	○日常生活のなかで見られるさまざまな文字を探し、文字に対する関心を高めることができる。 ○日常生活のなかで見られるさまざまな文字の印象について、話し合うことができる。	アウ	B：日常生活のなかで見られるさまざまな文字について知っている。 A：日常生活のなかで見られるさまざまな文字について理解している。 支援：教科書紙面を使いながら説明をすることで理解を促す。	B：日常生活のなかで見られるさまざまな文字について話し合い、考えている。 A：日常生活のなかで見られるさまざまな文字について積極的に話し合い、よく考えている。 支援：文字に関する発問を用意しておくなど、話し合いの観点を示すようにする。	B：日常生活のなかで見られるさまざまな文字について、調べようとする意識をもっている。 A：日常生活のなかで見られるさまざまな文字について、積極的に調べようとする意識をもっている。 支援：教科書の例、または用意しておいた文字資料を提示し、興味・関心を高めるようにする。
	3～4	5 文字の大きさと配列、点画のつながり（小筆） 『この道や行く人なしに秋の暮』	○文字の大きさと配列、点画のつながりについて理解することができる。 ○文字の大きさと配列、点画のつながりに気をつけて書くことができる。	アイウ	B：文字の大きさと配列について理解している。 点画のつながりについて理解している。 用紙全体に対する文字の大きさに気をつけて、行の中心をそろえて書いている。 点画のつながりに気をつけて書いている。 A：配列のポイントについて、よく理解している。 点画のつながりについて、よく理解している。 用紙全体に対する文字の大きさに気をつけて、行の中心をそろえて配列よく書いている。 点画のつながりに、よく気をつけて書いている。	B：用紙全体に対する文字の大きさについて考えている。 点画のつながりについて考えている。 A：用紙全体に対する文字の大きさについて、よく考えている。 点画のつながりについて、よく考えている。	B：他の文字や硬筆でも、用紙全体に対する文字の大きさや点画のつながりに気をつけて書こうとする意識をもっている。 配列や点画のつながりについて関心をもっている。 A：常に用紙全体に対する文字の大きさにや点画のつながりに気をつけて書こうとする意識をもっている。 配列や点画のつながりについて関心もち、積極的に書こうとしている。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					支援 ：外形が書いてある練習用紙を使うことで、配列が確かめられるようにする。書いている様子を友だちと見せ合いながら、次につながる穂先の動きについて確かめられるようにする。	支援 ：余白に偏りがある例を見ること、用紙に対する文字の大きさと配列について確かめられるようにする。筆意に着目するよう促し、穂先の動きが確かめられるようにする。	支援 ：学習した以外の文字でも、点画のつながりや配列に気をつけて書くよう呼びかける。次の線へつながる穂先の動きについて、教科書の図版を使いながら説明する。
11月	2	【レッツ・トライ】 小筆—小筆を生かして書く	○小筆を学習や生活のなかで生かす活動に、意欲的に取り組むことができる。 ○筆使いに気をつけて、小筆で書くことができる。 ○行の中心や余白のとり方に気をつけて書くことができる。	アイウ	B ：小筆の持ち方や筆使い、配列について理解している。 筆使いに気をつけて、小筆で書いている。 配列や余白のとり方に気をつけて書いている。 A ：小筆の持ち方や筆使い、配列についてよく理解し、字形を把握している。 筆使いに気をつけて、字形を整えて小筆で書いている。 余白のとり方に気をつけて、配列よく書いている。 支援 ：教科書の教材文字を参照し、小筆の筆使いが確かめられるようにする。 小筆の持ち方や筆使い、配列の要点が視覚的に理解できるようにする。	A ：小筆の持ち方や筆使い、配列の良さしを考えている。 支援 ：小筆の持ち方の図を使って、持ち方を確かめられるようにする。	B ：小筆を学習や生活のなかで生かす活動に、意欲的に取り組もうとしている。 日常生活においても、小筆の持ち方や筆使い、配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：小筆を学習や生活のなかで生かす活動に、積極的に取り組もうとしている。 常に小筆で字配りよく書こうとする意識をもっている。 支援 ：小筆の持ち方や筆使い、配列に気をつけるよう呼びかける。 日常生活におけるいろいろな機会、小筆を活用して、配列よく書くよう呼びかける。
11・12月	4～5	■好きな言葉を書く （『実現』『夢』『仲間』『友情』）	○好きな言葉を選び、自分のめあてを設定し、めあてに気をつけて書くことができる。 ○6年間で学習したことを生かして、意欲的に取り組むことができる。 ○毛筆で選んで書いた言葉を、硬筆で書いて確かめることができる。	アイウ	B ：これまで学習した配列や字形の整え方について理解している。 自分で選んだめあてに沿ったポイントに気をつけて書いている。 A ：これまで学習した配列や字形の整え方について、よく理解している。 自分で選んだめあてに沿ったポイントに気をつけて、配列よく書いている。 支援 ：6年間の学習内容や成果が確かめられるようにする。 それぞれの教材における要点について、個別に支援するようにする。	B ：6年間で学習したことを生かして、自分のめあてを選んでいる。 A ：6年間で学習したことを生かして、自分のめあてを適切に選んでいる。 支援 ：選んだ教材を試書することで、自分のめあてが見つけられるように支援する。	B ：6年間で学習したことを生かして、自分のめあてを設定し、書こうとしている。 他の学習場面においても、字形の整え方や文字の大きさに気をつけて、配列よく書こうとする意識をもっている。 A ：6年間で学習したことを生かして、自分のめあてを設定し、積極的に書こうとしている。 常に字形や文字の大きさに気をつけて、配列よく書こうとする意識をもっている。 支援 ：自分が書いてみたい言葉を選び、その教材におけるポイントを確かめられるようにする。 書写の授業以外でも、字形や文字の大きさ、配列に気をつけて書くよう呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
12・ 1月	4～5	書きぞめ 『夢の実現』	○床の上や立って書くときの姿勢、筆の持ち方に気をつけて、これまでの学習を生かして書くことを理解することができる。 ○文字の大きさや組み立て方に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○文字の中心に気をつけて書くことができる。	アイウ	B ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心について理解している。 これまで学習した文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて書いている。 A ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心について、よく理解している。 これまで学習した文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて、配列よく書いている。 支援 ：教科書で学習した文字の組み立て方のポイントについて振り返ることで、確かめられるようにする。 書きぞめ用紙を縦半分に折り、中心を意識できるようにする。 外形を考えることで、文字の大きさについて確かめられるようにする。	B ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方について考えている。 A ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方の良さあしを考えている。 支援 ：姿勢図や筆の持ち方の図版などを使って、確かめられるようにする。	B ：書きぞめに関心をもち、書こうとしている。 他の学習の書写場面でも、よい姿勢や筆の持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：書きぞめに関心をもち、積極的に書こうとしている。 常に姿勢や筆の持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。 支援 ：書きぞめの由来を説明し、書きぞめについて関心が高まるようにする。 書写の授業以外でも、姿勢や筆の持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて書くよう呼びかける。
		はってん ―「行書」	○中学校で学習する行書の書き方について、興味・関心を高めることができる。	アイウ			B ：中学校で学習する行書について、関心を高めている。 A ：中学校で学習する行書について関心を高め、積極的に学習に取り組もうとしている。 支援 ：身のまわりで見られる行書で書かれた文字を例示して、関心を高める。
2・ 3月	3～4	6 学習のまとめ 『旅立ちの時』	○これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで、めあてに気をつけて書くことができる。 ○文字の大きさに気をつけて書くことができる。 ○学習したことを生かして、硬筆で書いて確かめることができる。	アイウ	B ：これまで学習した内容について理解している。 これまで学習したことを生かして、自分の課題に気をつけて書いている。 文字の大きさや配列に気をつけて書いている。 A ：これまで学習した内容について、よく理解している。 これまで学習したことを生かして、自分の課題に気をつけて、字形を整えて書いている。 文字の大きさや配列に気をつけて、丁寧に書いている。 支援 ：学級全体で意見を出し合い、1年間の学習内容や成果が確かめられるようにする。 中心線を引いたり、文字の外形を囲んだりして、具体的に示すようにする。	B ：1年間の学習を振り返り、自分の課題について考えている。 文字の大きさや配列に気をつけて書こうとしている。 A ：1年間の学習を振り返り、自分の課題について、よく考えている。 文字の大きさや配列に気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 支援 ：これまで学習したまとめ書きを見直すようにする。 文字の大きさや配列を整えるための留意事項について確かめられるようにする。	B ：1年間の学習を振り返り、自分の学習の成果を確かめようとしている。 他の学習場面でも、文字の大きさや配列など、これまで学習したことに気をつけて書こうとする意識をもっている。 A ：1年間の学習を振り返り、自分の学習の成果を積極的に確かめようとしている。 常に文字の大きさや配列など、これまで学習したことに気をつけて、丁寧に書こうとする意識をもっている。 支援 ：これまで学習した教科書紙面を参照し、学習内容が確かめられるようにする。 書写の授業以外でも、文字の大きさや、配列、字形などに気をつけて書くよう呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		六年間で学習したこと	○文字の形や大きさ，組み立て方などに気をつけて，字形を整えて書くことができる。 ○学習したことを生かして，硬筆で書いて確かめることができる。 ○6年間の学習を振り返り，自分の学習の成果を確かめることができる。	アイウ	B ：これまで学習した内容について理解している。 文字の大きさや配列について理解している。 A ：これまで学習した内容について，よく理解している。 文字の大きさや配列について，よく理解している。 支援 ：学級全体で意見を出し合い，6年間の学習内容や成果が確かめられるようにする。	B ：6年間の学習を振り返り，自分の課題について考えている。 文字の大きさや配列に気をつけて書こうとしている。 A ：6年間の学習を振り返り，自分の課題について，よく考えている。 文字の大きさや配列に気をつけて，字形を整えて書こうとしている。 支援 ：これまで学習したまとめ書きを見直すようにする。 文字の大きさや配列を整えるための留意事項について確かめられるようにする。	B ：6年間の学習を振り返り，自分の学習の成果を確かめようとしている。 A ：6年間の学習を振り返り，自分の学習の成果を進んで確かめようとしている。 支援 ：これまで学習した教科書紙面を参照し，学習内容を確認できるようにする。
		【知っておこう】 手紙—お願いの手紙	○書写で学習した内容を，他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。	アウ	B ：手紙の書き方について理解している。 A ：手紙の書き方について，よく理解している。 支援 ：教科書の紙面を参照しながら，手紙の書式について確かめられるようにする。 封筒に対して文字が大きすぎたり小さすぎたりしのように，教科書を見ながら確かめられるようにする。		
		【書いて 伝え合おう】 卒業制作—思い出に残る言葉を書こう	○書写で学習した内容を，他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。	アイウ	B ：効果的に書くための基準について理解している。 文字の大きさ，行の中心，余白，行頭の位置に気をつけて書いている。 A ：効果的に書くための基準について，よく理解している。 文字の大きさ，行の中心，余白，行頭の位置に気をつけて，配列よく書いている。 支援 ：配列は整っているか，筆記用具は効果的に使われているかなど，具体的な投げかけをする。 鉛筆で下書きをすることで，文字の大きさや配列のめやすになるようにする。	B ：効果的に書くための基準を確認し，自分のめあてを設定している。 A ：効果的に書くための基準を確認し，自分のめあてを設定し，解決方法を選択している。 支援 ：効果的に書くための基準について確かめられるようにする。	B ：他の学習場面でも，配列に気をつけて書くことを，その目的や効果を考えて成果物に生かそうとしている。 A ：書写で学習した内容を，他教科での学習や日常生活にも積極的に生かしていく意欲をもっている。 常によく書く目的や効果を考えて，書写で学習した内容を日常生活に生かそうとしている。 支援 ：昨年の6年生が制作した成果物例などを具体的に例示する。 書写の授業以外でも，相手の読みやすさや効果を考えて書くよう呼びかける。

指導月	時数	教材名	学習指導のねらい	学習指導要領 の内容	評 価 規 準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	適時	【漢字表】 六年生で学習する漢字 五年生で学習した漢字	○5年生で学習した字形の 整え方などを確かめること ができる。 ○6年生で学習した筆使い や筆順，組み立て方などを 確かめることができる。 ○巻末漢字表を活用した， 漢字の仲間分けの活動を行 ったり，筆順がまちがえや すい漢字について確かめ たりすることができる。	アウ	Ｂ ：同じ組み立て方の構成をもつ漢字 を探すなど，漢字の仲間分けについて 理解している。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探 すなど，漢字の仲間分けをしている。 Ａ ：同じ組み立て方の構成をもつ漢字 を探すなど，漢字の仲間分けについ て，よく理解している。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探 すなど，漢字を正しく仲間分けしてい る。 支援 ：今まで学習した文字の組み立て 方などの内容を振り返り，確かめられ るようにする。 辞典などを使って，漢字の部分につい て調べるようにする。	Ｂ ：これまで学習した字形の整え方， 筆順について考えている。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探 すなど，漢字の仲間分けについて考 えている。 Ａ ：これまで学習した字形の整え方， 筆順について，よく考えている。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探 すなど，漢字の仲間分けについて判断 している。 支援 ：教科書紙面を使って，正しい筆 順や字形の整え方などが確かめられ るようにする。 どの文字のどの部分に着目して探す か，具体的に説明する。	Ｂ ：巻末漢字表を使った仲間分けの活 動や漢字の成り立ちについて，関心 を高めている。 他の学習場面でも，筆順や字形に気 をつけて書こうとする意識をもってい る。 Ａ ：巻末漢字表を使った，漢字の仲間 分けの活動や漢字の成り立ちについ て関心を高め，積極的に取り組もうと している。 常に筆順や字形に気をつけて書こう とする意識をもっている。 支援 ：巻末漢字表の使い方について確 かめらるようにする。 書写の授業以外でも，気をつけるよう 意識づける。
		【平仮名表】 【消しゴム印の作り 方】	○平仮名の字形や筆順につ いて確かめることができ る。	アウ	Ｂ ：平仮名の筆順や字形について理解 している。 Ａ ：平仮名の筆順や字形について，よ く理解している。 支援 ：ふだん，字形を整えにくい文字 に関して，教科書を見ながら確認で きるようにする。		Ｂ ：平仮名の筆順や字形を確かめてい る。 常に平仮名の筆順や字形を確かめよう とする意識をもっている。 Ａ ：平仮名の筆順や字形を，積極的に 確かめている。 常に平仮名の筆順や字形を確かめて， 丁寧に書こうとする意識をもってい る。 支援 ：まちがえやすい筆順について， 重点的に確かめるように呼びかける。 書写の授業以外でも，常に気をつける よう意識づける。